

令和 7 年度（2025 年度）

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

浅口市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
1	経 緯	1
2	目 的	1
3	点検・評価の対象及び方法等	1
4	学識経験者による知見の活用	2
5	浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要	3
6	点検・評価シートの作成	4
7	事務局、教育機関の機構	5
II	教育委員会の活動状況	6
1	教育委員会会議の開催状況	6
2	名簿	6
3	令和7年度教育委員会会議の開催状況	6
4	教育委員会の学校訪問	8
5	教育委員会会議以外の活動状況	9
III	点検・評価の結果	11
	基本方針1「幼児教育・学校教育の充実」	11
	基本事業【確かな学力向上の推進】	11
	・確かな学力向上の推進	11
	・特別支援教育の充実	12
	・社会に開かれた学校づくり	13
	・教育の充実のための学校組織体制	13
	・個に対応した家庭支援・援助	15
	基本事業【心の教育の推進】	16
	・心の教育の推進	16
	基本事業【体育・健康教育の充実】	20
	・体育・健康教育の充実	20
	基本事業【デジタル社会に対応した教育の充実】	22
	・GIGAスクール構想の推進	22
	基本事業【学校施設の整備・充実】	23
	・学習環境の整備・充実	23
	基本方針2「豊かな人生を育む生涯学習の充実」	26
	基本事業【生涯学習の充実】	26
	・人材育成活動の推進	26
	・生涯学習活動の推進	26
	・公民館活動の推進	27
	・図書館活動の推進	27
	・広報・啓発活動	28

・家庭教育の推進	28
・学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	28
・子ども読書活動の推進	29
基本事業【青少年健全育成団体の活動支援】	30
・青少年健全育成の推進	30
基本事業【社会教育施設の整備・充実】	31
・社会教育施設の整備・充実	31
・岡山天文博物館の円滑な管理・運営	31
基本方針3「スポーツ活動の振興」	34
基本事業【スポーツ推進計画の推進】	34
・スポーツ推進計画の推進	34
基本事業【各種スポーツ団体の育成・支援】	35
・各種スポーツ団体の育成・支援	35
基本事業【スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実】	36
・スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実及び活用	36
基本方針4「歴史文化の保全活用と芸術文化の振興」	38
基本事業【歴史・文化的資源の保全・活用】	38
・文化財の保護・保存・公開・普及活動	38
基本事業【芸術文化活動の振興】	40
・芸術文化活動の普及と振興	40
基本事業【文化施設の整備・充実】	41
・かもがた町家公園の円滑な管理・運営	41
・阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	42
基本方針5「グローバルな感性を育む国際交流の促進」	44
基本事業【国際交流の推進】	44
・姉妹都市（豪州・テーターガリー市）、友好提携都市（中国・高安市）との交流	44
・交流を通しての国際理解	44
基本事業【国際的に活躍できる青少年の育成】	45
・コミュニケーション能力の向上	45
基本事業【国際理解教育の推進】	45
・ALTを活かした英語活動の充実	45
基本方針6「だれもが活躍できる社会の実現」	47
基本事業【人権啓発、人権教育の推進】	47
・人権教育の推進	47
・人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	47
基本方針7「安心して産み育てることができる子育て支援の充実」	49
基本事業【出産・育児・保育サポートの充実】	49
・子育て環境の整備・充実	49

基本事業【放課後児童健全育成事業の充実】	5 2
・放課後児童クラブの充実	5 2
基本事業【遊び・交流の場の整備・充実】	5 3
・遊び・交流の場の整備・充実	5 3
IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（令和7年度事業分）	5 5

資料

【資料1】令和7年度 園児・児童・生徒数（5月1日現在）	6 1
【資料2】令和7年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校 及び教職員の研修一覧	6 2
【資料3】令和7年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧	6 4
【資料4】令和7年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績	6 5

I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この改正法の規定に基づき、浅口市教育委員会が行った諸事業について、点検及び評価の結果について報告書にまとめるものです。

2 目的

地教行法の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 点検・評価の対象及び方法等

（1）対象

- ア 浅口市教育委員会の運営状況
- イ 浅口市教育委員会が管理・執行する事務
- ウ 「浅口市教育行政の基本方針」に掲げている主要施策の取組状況

（2）方法

令和7年度における各事業の達成状況を把握し、その取組状況について点検・評価を実施します。

（3）報告

- ・時 期 浅口市議会令和8年9月定例会
- ・報告の場 厚生文教常任委員会

（4）公表

- ・浅口市ホームページ及び教育委員会事務局での閲覧

4 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、浅口市教育委員会評価委員から意見を聴取いたしました。

◇ 浅口市教育委員会評価委員（令和8年度）

番号	氏 名	所 属	備 考
1	浦上 博文	元岡山短期大学幼児教育学科特別専任教授	
2	吉田 真悟	元小学校校長	
3	高藤 佳明	元国立吉備青少年自然の家所長	

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要

(1) 教育委員会の運営状況

評 価 項 目	評 価 内 容
ア 教育委員会の会議の運営	・教育委員会定例会の開催回数 ・教育委員会臨時会の開催回数
イ 教育委員の研修等	・研修等の参加状況

(2) 教育委員会が管理及び執行する事務

評 価 項 目	評 価 内 容
ア 教育行政の運営に関する基本方針	・基本方針の策定
イ 規則等の改廃	・規則等の制定・改正等
ウ 議会の議決を経るべき議案	・条例、予算等の議案
エ 教育関係予算	・教育行政に関する当初及び補正予算
オ 教育委員会の所管に属する学校 その他の教育機関の設置又は廃止	・設置又は廃止の状況
カ 職員の任免に関すること	・教育委員会事務局職員の人事異動等の状況
キ 教科用図書の採択の決定に関する こと	・教科用図書の採択状況
ク その他	

6 点検・評価シートの作成

(1) 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理・執行する事務及び基本方針に掲げた基本事業について点検・評価します。

(2) 事業概要

点検・評価項目の基本事業について、その概要を記載します。

(3) 取組状況

点検・評価項目の基本事業について、目的を達成するための具体的な取り組み状況を記載します。

(4) 課題・方向性

今後の課題、改善点及び方向性について記載します。

(5) 自己評価

基本事業に対する達成度や効果等について、評価を記載します。

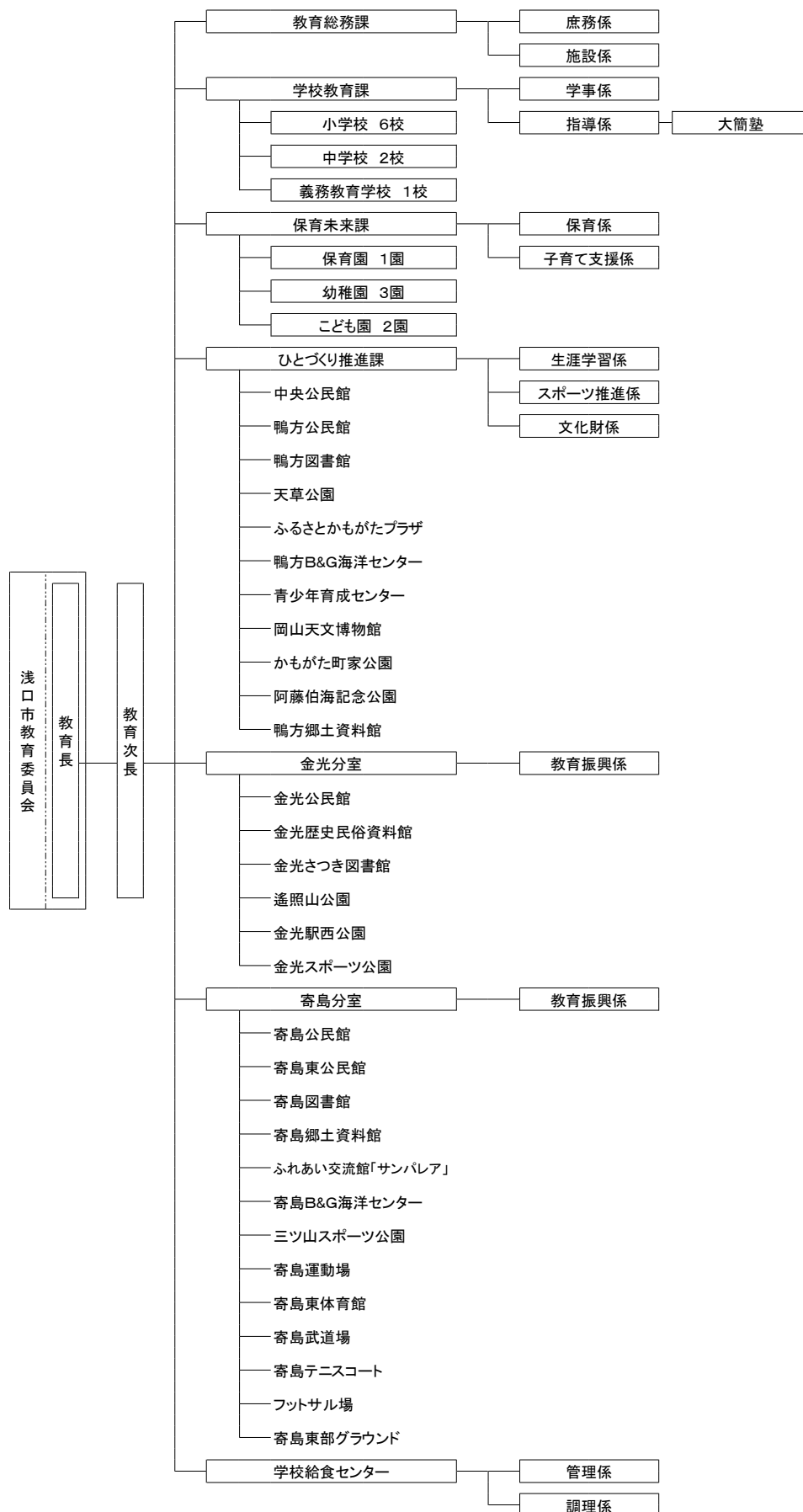
(6) 評価委員の総合評価

外部委員の意見・評価を記載します。

(7) 評価指標

- | | |
|---------------|-----------------|
| A：十分達成された。 | (目標達成率 90～100%) |
| B：概ね達成された。 | (目標達成率 80～89%) |
| C：やや達成できなかった。 | (目標達成率 70～79%) |
| D：達成できなかった。 | (目標達成率 ～69%) |

7 事務局、教育機関の機構（令和7年4月1日現在）



Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催状況

浅口市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催している。この会議では、教育長及び4名の教育委員が、教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定・改廃、教科用図書の採択、文化財の指定など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、教育に関する重要事項について事務局から報告等を受けている。

2 名簿（令和7年5月12日現在）

職 名	氏 名	就任年月日	任期満了年月日
教 育 長	文 谷 元 信	令和7年5月12日	令和10年5月11日
委 員 (教育長職務代理者)	高 戸 崇	令和4年5月12日	令和 8年5月11日
委 員	藤 澤 弘 幸	令和5年5月12日	令和 9年5月11日
委 員	河 野 由 美 子	令和6年5月12日	令和10年5月11日
委 員	坂 本 正 恵	令和7年5月12日	令和11年5月11日

3 令和7年度教育委員会会議の開催状況

	期 日	場 所	附 議 案 件 等
4月定例会	4月15日	中央公民館	・浅口市図書館運営協議会委員の委嘱について
5月定例会	5月12日	中央公民館	・教育委員会教育長職務代理者の指名について ・浅口市招致外国青年就業規則及び浅口市外国人英語教師就業規則の一部を改正する規則について
6月定例会	6月20日	中央公民館	・準要保護の認定について ・浅口市特定教育・保育施設等の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について
7月定例会	7月15日	中央公民館	
8月定例会	8月12日	中央公民館	・令和8年度使用特別支援学級教科用図書の採択について ・教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

9月定例会	9月16日	中央公民館	・浅口市保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等の利用調整に関する基準要綱の一部を改正する告示について
10月定例会	10月14日	中央公民館	・準要保護の認定について
11月定例会	11月20日	中央公民館	・浅口市保育士等就職支援補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市認可外保育施設等利用料補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市全国大会等出場激励金交付要綱の一部を改正する告示について
12月定例会	12月10日	中央公民館	・浅口市第3子以降学校給食費免除実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市きらきら賞受賞者の決定について
1月定例会	1月9日	中央公民館	・準要保護の認定について ・浅口市子ども・子育て会議委員の委嘱について
1月臨時会	1月20日	中央公民館	・給食費について
2月定例会	2月4日	中央公民館	・準要保護の認定について ・浅口市立幼稚園園則の一部を改正する規則について ・浅口市立認定こども園園則の一部を改正する規則について
3月定例会	3月11日	中央公民館	・準要保護の認定について ・浅口市教育委員会事務局処務規則等の一部を改正する規則について ・浅口市立幼稚園園則の一部を改正する規則について ・浅口市生涯学習推進本部要綱の一部を改正する告示について ・浅口市立保育所運営規程等の一部を改正する告示について ・浅口市私立保育所等給食費補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市保育士等雇用促進事業補助金交付要綱の一部を改正する告示 ・浅口市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について ・浅口市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について ・浅口市文化財保護委員会委員の委嘱について

			・令和8年度（2026年度）教育行政の基本方針について ・教育委員会事務局職員の教育次長、理事及び課長級の任免について ・教育委員会事務局職員の懲戒処分について ・浅口市業務量管理・健康確保措置実施計画について
3月臨時会	3月30日	中央公民館	・浅口市乳児等通園支援事業の認可及び確認に関する規則の制定について ・浅口市乳児等支援給付認定に関する規則の制定について ・浅口市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱の制定について ・浅口市認定地域クラブ活動指導者要綱の制定について ・浅口市認定地域クラブ活動支援補助金交付要綱の制定について ・浅口市認定地域クラブ助成金交付要綱の制定について ・浅口市乳児等通園支援事業実施要綱の制定について ・浅口市立以外中学校等給食費相当分負担金交付要綱の一部を改正する告示について

4 教育委員会の学校訪問

時期	訪問先	概要
5月16日	金光吉備小学校、鴨方西小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
5月21日	鴨方東小学校、金光中学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
5月28日	鴨方中学校、金光竹小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
6月10日	寄島学園	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
9月16日	鴨方西幼稚園、六条院こども園、竜南保育園	保育参観、園長との懇談
12月4日	六条院小学校、金光小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
2月4日	金光幼稚園、鴨方東幼稚園、寄島こども園	保育参観、園長との懇談

5 教育委員会議以外の活動状況

令和7年度の主な活動は次のとおりである。

時 期	各種会議・関係行事	概 要
4月5～ 11日	○市立学校・園入学式	・市立保育園1園、幼稚園3園、こども園2園、小学校6校、中学校2校、義務教育学校1校
6月20日	○浅口市教育委員情報交換会等	・研修、情報交換 中央公民館
5月18日～ 11月2日	○市立学校・園運動会・体育会	・市立学校・園
4月23日	○令和7年度おかやま教育問題懇談会	・WEB 会議
5月21日	○岡山県都市教育委員会教育長協議会	・第1回定例会 美作市役所大会議室
5月25日 10月12日	○浅口市民体育祭	・金光大会（中止） ・寄島大会「寄島もやいの体育祭」
6月26日	○岡山県市町村教育委員会連絡協議会	・総会 ・書面開催
7月14日	○市町村教育委員会教育長会議	・WEB 会議 「給特法等改正法の内容」
7月15日	○総合教育会議	・第1回 中央公民館 「GIGA スクール構想第2期について」
7月15日	○岡山教育事務所管内教育長連絡会議	・連絡及び協議 情報交換 ピュアリティまきび
7月17日	○中国地区市町村教育委員会連合会研修大会	・研修大会 ホテルグラン・ココエ倉敷
8月12日	○教育委員会市内視察	・低層棟「あさくちきらめきプレイス」
8月23日	○オールキラリアワード表彰式	・中央公民館
9月16日	○園給食の試食	・竜南保育園
10月21日	○岡山県教育長と市町村教育長との意見交換会	・意見交換会 岡山県立図書館
10月22日	○岡山教育事務所管内教育長連絡会議	・連絡会議 ピュアリティまきび

11月6日	○岡山県都市教育委員会教育長協議会	・第2回定例会 浅口市ふれあい交流館「サンパレア」
12月14日	○浅口市マラソン大会	・三ツ山スポーツ公園
1月9日	○総合教育会議	・第2回 中央公民館 「休日部活動の地域展開について」
1月11日	○二十歳の集い	・ふれあい交流館サンパレア
1月25日	○浅口市きらきら賞表彰式	・中央公民館
3月17日	○教育委員会視察	・総社市立昭和五つ星学園義務教育学校
3月12日～ 25日	○市立学校・園卒業式	・市立保育園1園、幼稚園3園、こども園2園、小学校6校、中学校2校、義務教育学校1校

課題・方向性	・教育委員相互の意見交換や教育委員会事務局からの説明聴取を積極的に行い、様々な教育課題について議論し、市の教育行政の方向性を定めていけるよう工夫していく。 ・学校・園訪問を適切な時期・方法で継続し、授業参観や校園長と懇談を行い、教育現場の実態把握に努め、具体的な指導・支援を講じていく。 ・総合教育会議を通じて、市長とより緊密に連携を図りながら、教育行政を推進していく。 ・小中一貫教育の推進のため、研修会等への参加や先進地視察を行い、各地域に適した方向性を検討していく。
自己評価	自己評価 A ・学校訪問では、市内公立15校園へ訪問した。授業や保育現場の参観、校園長との懇談を行うことで、教育及び保育現場の意見を積極的に聴くことに努めた。また、教育委員会事務局からの報告や連絡を受けるだけでなく、積極的に事務局へ報告を求め、情報交換会に出席する等、教育行政に関する見識を深め、諸課題の把握・対応に努め、教育現場や事務局と連携を図りながら、指導・支援を行うことができた。 ・総合教育会議では、「GIGAスクール構想第2期について」、「休日部活動の地域展開について」の2件について、市長と現状確認や協議、意見交換を行い、教育課題に対する共通理解を図ることができた。

Ⅲ 点検・評価の結果

基本方針 1 幼児教育・学校教育の充実

＜基本事業＞確かな学力向上の推進（キラリと光る未来プロジェクトの推進）

【担当：学校教育課】

確かな学力向上の推進	事業の内容	事業概要
	学習指導方法の工夫・改善	・学校経営アクションプランに基づいた学校訪問の充実 ・浅口市教育委員会・小教研・中教研における研究推進 ・国、県の学力・学習状況調査の分析と結果の活用 ・授業改革推進員、指導教諭による授業改善の推進 ・主体的な学びづくり事業による基礎学力の向上
		取組状況 ・県教委の訪問により、学校経営アクションプランに基づいた説明や授業参観、協議を行い、授業改善を含めたよりよい学校経営に生かされるよう充実を図った。 ・小中一貫教育校、義務教育学校ごとに学力調査結果の分析を行い、各校の成果や課題を整理し、さらに学校間で情報共有をすることで、授業改善や学校課題の解決に努めている。
	小中一貫教育の推進	・一貫教育校ごとの特色を生かした更なる一貫教育の推進 ・浅口市立寄島学園（義務教育学校）開校 ・浅口市立寄島学園の特色として、寄島アクティブクラブ、イングリッシュ国内留学を実施 ・あさくち未来学の研究・実践
		取組状況 ・各小中一貫教育校ごと、義務教育学校ごとに、一貫教育カリキュラムの実践を充実させた。 ・小学校及び義務教育学校前期課程での一部教科担任制により、空き時間の確保や授業の質の向上を図ることができた。 ・英語教育に関しては、継続的な取組により、小中一貫教育の視点での研究実践を積み重ねた。 ・「あさくち未来学」のカリキュラムをもとに実践し、地域資源や地域人材を活用した、特色ある取組を展開することができた。
	保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の連携	・校園長会、校長会、教頭会との連携 ・担当者別研修会（教務、養護教諭、生徒指導、不登校担当者、特別支援教育コーディネーター等）の充実 ・園・小学校・義務教育学校前期課程の架け橋期におけるカリキュ

		ラムの構築と推進
		取組状況
		・校園長会や担当者会において、取り組みや課題の協議を行った。 ・担当者研修を計画的に開催し、諸課題についての協議や情報共有を図った。 ・園小連携については、カリキュラムに基づいた系統的な指導を行い、より円滑な接続につなげることができた。
外国語教育・国際理解教育の推進		・英語準２級以上取得した児童生徒に報奨金交付 ・外国語指導助手（ＡＬＴ）の活用 ・英語教育指導員の配置 ・ＡＬＴ研修会及び授業研究による英語教育の充実
		取組状況
		・ＡＬＴを市内全ての公立保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校に配置し、系統的に指導を行い英語教育の充実を図っている。 ・英語専科加配、小中連携加配教員により、市内全ての小学校、義務教育学校前期課程３・４・５・６年生で充実した英語教育を展開した。 ・英語教育指導員による授業参観やＡＬＴ研修を定期的に行い、よりよい授業づくりを目指した。 ・市内の学校間でオンラインでつないで、交流することができた。
特別支援教育の充実	事業の内容	事業概要
	特別支援教育の推進と体制整備に関する研究	・学校園における特別支援教育推進体制整備への支援 ・学校の実態に即した生活支援員の配置と活用 ・通常学級及び特別支援学級における児童生徒に関する指導・支援の充実 ・「就学前からの特別支援教育拠点化推進事業」を活用した特別支援教育推進体制と専門性向上に関する実践研究
		取組状況
	研修の充実	・各校園において特別支援教育の中心となる教員を位置付け、組織的、継続的な支援ができるように体制を整えている。 ・県の特別支援教育エキスパート派遣事業を活用し、専門的な助言を基に指導支援の改善を図った。 ・金光小学校言語障害通級指導教室、六条院小学校の自閉症・情緒障害通級指導教室では、個別の障害特性に合わせた指導支援を行うことができた。 ・利用人数 ことばの教室（３０人）あすなろ教室（２０人）
		取組状況
		・障害種別に応じた特別支援教育の研修の充実
	研修の充実	取組状況
		・支援員を対象とした個別支援の在り方等についての特別支援教育の研修会を実施し、個別対応の仕方や配慮する点について研修を深めた。

	就学指導の充実	・学校園及び関係機関と連携した個に応じた適切な学びの場を考える就学指導の充実
		取組状況
		・就学指導等連絡協議会を実施し、就学前の子どもの実態について情報を共有している。 ・支援を必要とする子どもたちへの適切かつ継続的な支援とするため、特別支援教育担当者に対して支援委員会の持ち方や個別の教育支援計画の作成と共有、引継ぎについて確実に行うよう働きかけた。 ・保護者を対象として、就学指導の流れについて説明する機会（就学ガイダンス）を設けている。
	適切な支援を考えるケース会議の充実	・要保護児童対策地域協議会実務者会議等を通じての情報の共有 ・適切な教育・保育・家庭支援のためのケース会議への支援
社会に開かれた学校づくり	事業の内容	事業概要
		・学校園評価を活用した学校経営方針の決定 ・「社会に開かれた教育課程」の実践 ・学校運営協議会の定期的な実施と地域学校協働活動との一体的な推進支援
		取組状況
	社会に開かれた学校づくり	・小中一貫教育校、義務教育学校として、小中一体となり教育を進めることができた。 ・小中一貫教育の取組について学びや活動の様子を市のホームページや広報誌を活用して地域・保護者へ発信した。 ・コミュニティ・スクール（ＣＳ）推進については各校、各地区の学校運営協議会が特色ある取組を検討、実施し、着実に進んでいる。 ・学校運営協議会と地域学校協働本部との一体的な推進を意識した取組も進んでいる。
教育の充実	事業の内容	事業概要
		・初任者研修等各種職階別研修の充実 ・加配教員等を活用した学校運営や教育内容の充実のための指導・支援
		取組状況
	教職員の適正な配置と加配教員等の活用	・笠岡市、井原市、里庄町、矢掛町、早島町と連携し、キャリアステージに応じた研修（合同若手研修、合同中堅研修）の場を

の た め の 学 校 組 織 体 制		設定した。 各校へ加配の目的を明確に伝え、目的に合った適切な指導・支援となるように指導を行った。
	教職員のサービスの厳正	- 校長会及び管理職研修によるサービスの厳正 - 教職員ストレスチェックの実施 - 教職員の不祥事防止のためのコンプライアンス研修の推進
		取組状況
		- 教職員のサービス管理に関しては、毎月の校長会において県から示される資料等を用いて定期的に指導の徹底を行った。 - 学校グループウェアの活用により、出退勤の管理を行っている。各校においてアイデアを出し合い、働き方改革を推進しているが、超過時間が多くなっている教員も見られるため、校長を通じて労務管理に努めている。 - 教職員のストレスチェックを実施し、心の状態について自ら顧みることができるようにしている。 - 市内各校で毎月コンプライアンス研修を実施している。不祥事案を自分事として考えられるように、各校の推進員がグループ協議等研修形態を工夫した研修の場を設けている。 - 校長からの聞き取りや学校訪問により、学校の様子の把握に努め、学校では、教職員への声かけ、校内環境の点検・整備等を行い、風通しのよい職場づくりに努めている。
	人事評価システムの適正な運用と活用	教職員の育成・評価システムによる教職員の資質能力の向上及び学校組織の活性化
		取組状況
		- 教職員の資質能力の向上と学校組織の活性化に結び付けられるように「教職員の育成・評価システム」に基づいた適切な運用となるように校長会で継続的に指導をした。 - 面談等の確実な実施とその把握のためにチェックリストを作成し、活用することで確実な評価につなげた。 - 管理職へは、適切な評価ができるよう、日々の授業観察や教職員とのコミュニケーションの重要性について指導した。
	教職員の働き方改革の推進	- 人的配置（学級アシスタント、部活動指導員等）による勤務負担軽減の取組 - 校務支援システムや学校用グループウェア等の活用による効率的な職務の遂行 - 就学時健康診断を教育委員会事務局にて実施
		取組状況
		- 授業準備支援や児童・生徒の個別支援を行う教師業務アシスタントや学級アシスタントを配置することにより、教職員の負担感の軽減につなげることができた。 - 部活動指導員配置事業を活用し、5名の指導員（陸上・剣道・卓球2・吹奏楽）を配置し、教員の負担軽減につなげることができた。

個に対応した家庭支援・援助		・学校用グループウェアの活用により、学校間の連絡や情報共有などが効果的に行われ、負担軽減につなげることができた。 ・校務支援ソフトを活用し、成績処理や指導要録の管理等について効率化が図られている。 ・保護者連絡アプリ「コドモン」の活用で、電話対応の負担を軽減することができた。 ・公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の服務を監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針の改正に合わせて、浅口市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を作成した。
	事業の内容	事業概要
	就学（園）援助	(小学校・中学校・義務教育学校) ・要保護、準要保護の認定 ・認定された就学者へ、医療費・修学旅行費等の給付 (保育園・幼稚園・こども園) ・生活保護世帯等の就園者へ、保育に必要な物品等の購入に要する費用の給付（実費徴収に係る補足給付事業）
		取組状況
		(小学校・中学校・義務教育学校) ・認定された対象者に対して、適切に就学援助費の支給をすることができた。 (保育園・幼稚園・こども園) ・生活保護世帯の給付対象者に制度の周知を図り、給食費や園用品等費用の一部給付を行った。
	給食費支援	・多子世帯の経済的負担軽減のため、市立小学校・義務教育学校前期課程に在籍する第3子以降の学校給食費の全額免除 ・市立中学校・義務教育学校後期課程に在籍する生徒の学校給食費無償化 ・市内に住所を有する市立中学校・義務教育学校後期課程以外の生徒への給食費無償化相当分支援事業の実施 ・給食費値上げ分を公費負担する学校等給食費高騰対策事業
		取組状況
		・対象となる小学校、義務教育学校前期課程児童の給食費を免除とした。 ・市立中学校、義務教育学校後期課程の生徒の給食費を無償とした。 ・市内に住所を有する市立中学校・義務教育学校後期課程以外の生徒の給食費相当額を公費負担した。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
家庭学習1日1時間以上の生徒の割合 ※岡山県学力・学習状況調査による	(中1)70.0%	(中1)51.6%

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
スマートフォンやコンピュータの使い方について 家の人と約束したことを守っている生徒の割合 ※岡山県学力・学習状況調査による	(中2)70.0%	(中2)64.1%

課題・方向性	・各校で学力調査の結果を丁寧に分析し、成果と課題を捉えていくことは子どもたちの学びや育ちを考える上で大切であると考えている。 ・鴨方中学校、金光中学校、寄島学園、金光小学校、六条院小学校に「自立応援室」を設けて、細やかな支援を行い心が落ちつく居場所づくりを進めた。今後も教育相談や総合質問紙調査等を分析し、児童生徒の実態や状況を捉え、関係機関ともつながりながらきめ細やかな対応を進めていく。 ・中学校区で「小中一貫教育校」の指定を行っており、寄島学園が「義務教育学校」として開校した。より一層協働・連携を推進することができた。
自己評価	自己評価 B ・各小中一貫教育校、義務教育学校での継続的な取組の推進と教科担任制や乗り入れ授業、英語教育の継続的な実践により、心豊かでたくましい児童・生徒の育成に努めることができた。 ・端末を活用した授業実践が着実に進んだ。個別最適な学び、協働的な学びにつなげ、主体的・対話的で深い学びへと展開していくようにする。

<基本事業>心の教育の推進

【担当：学校教育課】

	事業の内容	事業概要
心の教育の推進	道徳教育の充実	・学校園における「あいさつ運動」の推進
		取組状況
		・各校で、参観日・学校公開・オープンスクール等において、道徳の時間の授業公開を行っている。 ・各校で学校運営協議会の活動が軌道に乗り、様々な体験活動や学習支援を行っている。あいさつの取組は多くの学校で重点課題として取り組んでいる。

	人権教育の充実	・人権意識の向上 ・人権教育推進計画に基づいた指導
		取組状況
		・人権集会を実施し、子どもたちと共に人権について考える機会をもった。 ・各校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置付けて推進している。 ・ひとづくり推進課との連携により、各園・小・中・義務教育学校PTA人権教育研修会を実施している。 ・人権教育指導者養成講座を実施した。
	学社連携による体験学習の充実	・育成講座の充実による中学生・義務教育学校後期課程のボランティア参加推進 ・地域学校協働活動の推進 ・「夏GAKUサプリ」、「冬GAKUミニサプリ」を通しての体験活動等の充実
		取組状況
		・地域学校協働本部と連携して地域人材を外部講師やボランティアとして招聘し、学習・体験活動の支援をしてもらった。また、活動の様子を学校便りやホームページで、保護者や地域への情報発信を積極的に行った。 ・中学生・高校生のボランティア育成が計画的に行われ、イベントの企画、運営に関わりながら、主体的に地域貢献していこうとする姿勢が高まってきている。 ・夏GAKUサプリ・冬GAKUミニサプリについては、中学生・高校生のボランティア参加もあり、学習、体験活動の充実を図ることができた。
	教育相談の充実	・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と効果的な活用 ・定期的な教育相談の実施
		取組状況
		・スクールカウンセラーは、県の事業により、市内全ての小・中・義務教育学校に配置されている。児童生徒、保護者等の悩みの相談を通して、心のケアを行うことができた。 ・青少年育成センター相談事業については、学校と連携を図りながら対応や取組を進め、児童生徒への適切な支援や学校への助言を行うことができた。 ・スクールソーシャルワーカー等については、全ての学校を巡回し、定期的な情報共有の場を設ける等家庭と学校をつなぐ役割を果たしている。 ・各校において教育相談を実施し、不登校、社会・学校不適応、一般育児問題等の相談を行い、児童生徒の課題の把握と解決に努めている。

	適応指導教室事業の推進	・個に応じた指導内容の充実 ・指導員と在籍学級担任との情報連携の促進 ・指導員の協働連携体制・円滑な運営体制の整備 ・カウンセラーの配置による心のケア
		取組状況
		・適応指導教室「大簡塾」は、落ち着いた環境の中で活動している。学校に行きづらい児童生徒の居場所づくりにするとともに学習支援等を行い、学校復帰に向けた取組を行った。 ・令和7年度は5名の児童・生徒が利用した。 ・在籍学校と情報の共有や在籍校の先生方と適切に連携・交流を行い、学校復帰に向けていった。 ・訪問カウンセラーを大簡塾に配置し、大簡塾に通う児童・生徒や保護者の心のケアや相談に対応した。
	生徒指導の充実 (不登校対策・いじめ問題対策等)	・心理検査（i-check等）を活用した生徒指導の充実 ・登校支援員等による児童生徒への登校支援体制の充実 ・生徒指導担当者（不登校、いじめ問題等）の研修 ・いじめ問題対策連絡協議会の実施 ・自立応援室における支援の推進
		取組状況
		・総合質問紙調査（i-check）を年2回実施し、児童生徒の心身の状況をきめ細やかな把握に努めた。 ・県の事業を活用した市内小・中・義務教育学校への登校支援員の配置、金光中学校・鴨方中学校・寄島学園・金光小学校・六条院小学校への自立応援室を設置し、不登校傾向の児童・生徒に対して指導支援を行った。 ・県の事業として鴨方高校に開設されたマイプレイス（様々な理由で登校できない生徒を対象とした生活及び学習支援施設）と連携した支援を行った。 ・いじめ問題対策連絡協議会は、市内の現状やいじめ問題への対応の在り方について協議した。
	就学前の教育支援	・保育園・幼稚園・こども園教育への指導・支援の充実
		取組状況
		・保育未来課・健康こども福祉課と連携を図り、就学についての相談の機会を設け、助言等を実施した。 ・「園小接続カリキュラム あさくち」に基づき、園と小のつながりを大切にしながら系統的な支援の充実に努めている。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
学校に行くのが楽しみな生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(小6)肯定率 85.0% (中3)肯定率 90.0%	(小6)肯定率 83.8% (中3)肯定率 91.3%
(参考)全国平均	(小6)肯定率 86.3% (中3)肯定率 86.2%	
(参考)県平均	(小6)肯定率 86.5% (中3)肯定率 86.1%	

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
「認める、ほめる、励ます」活動により肯定的に 感じている児童生徒の割合 ※i-check調査項目による	(小5)肯定率 90.0% (中2)肯定率 95.0%	(小5)肯定率 87.5% (中2)肯定率 91.7%
児童生徒が夢や希望を持つ ※i-check調査項目による	(小5)肯定率 87.0% (中2)肯定率 77.0%	(小5)肯定率 87.0% (中2)肯定率 76.8%
児童生徒の自己肯定感の向上 ※i-check調査項目による	(小5)肯定率 75.0% (中2)肯定率 75.0%	(小5)肯定率 80.6% (中2)肯定率 75.3%

課題・方向性	・学校に地域の方々が参画しながら子どもたちの育ちを支えてくれる風土が醸成され、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な教育を推進することができている。 ・小学校と中学校との連携がより一層深まり、連続性のある教育が充実しつつある。 ・小中義務教育学校とともに不登校者数は高止まり傾向にある。今後も教育相談や総合質問紙調査等を分析し、児童生徒の実態や状況を捉え、関係機関ともつながりながらきめ細やかな対応を進めていく必要がある。 ・自立応援室が設置された学校では、教室に入りにくい児童生徒の居場所として活用が進んでいる。
自己評価	自己評価 B ・学校と地域が学校運営協議会での協議を通じて、子どもたちの心の育ちを支えてくれている。 ・また、県事業であるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、自立応援室等を活用しながら不登校傾向児童生徒への支援をし、心に寄り添う関わりを行うことができた。 ・不登校傾向の児童生徒は高止まり傾向にあり、継続的な対処や支援が求められている。

＜基本事業＞体育・健康教育の充実

【担当：学校教育課】

体育・健康教育の充実	事業の内容	事業概要
	体力づくり・スポーツ活動の推進	・ 小学校体育連盟・中学校体育連盟関係事業の支援 ・ 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果の活用 ・ 部活動の地域移行に係る部活動地域移行検討委員会の開催
		取組状況
		・ 小体連が主体となり、市陸上記録会を実施することで、運動への興味関心を高めることができた。 ・ 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果を基に、各校で分析を行い、指導改善に努めている。
	心身の健康の保持増進	・ 感染症感染拡大防止のための学校園対応等の共有と対策の徹底 ・ 教職員及び園児・児童・生徒の健康診断実施
		取組状況
		・ 身体計測のときには、養護教諭による保健指導を計画的に取り組んだ。 ・ 性教育、薬物乱用防止教育については、児童生徒にとって大切な学習であるにとらえ、玉島警察署等と連携しながら計画的に学習に取り組んでいる。
	望ましい食生活習慣の育成	・ 学校給食における食物アレルギー対策委員会の実施 ・ 栄養教諭等による食育指導の充実 ・ 食育全体計画の作成と実践 ・ 地産の食材について紹介する地産地消通信の発行など給食における地産地消の推進
		取組状況
		・ 次年度に向けての給食対応を決定する「食物アレルギー対策委員会」を毎年開催し、安心・安全な給食提供に努めている。 ・ 各校において食育全体計画を作成し、それに基づき、栄養教諭が学校に赴き、食育指導に計画的に取り組むことができた。 ・ 地産地消の推進を意識した学校給食献立を作成した。各校からのリクエスト献立も取り入れた。
	子どもたちの安全・安心な生活の推進	・ 学校園における月例安全点検の実施 ・ 登下校の児童生徒の安全指導の充実（地域の見守り活動との連携） ・ 「浅口市通学路等交通安全プログラム」による合同点検の実施 ・ 浅口市青少年育成センター、玉島警察署、補導協議会等関係機関との連携
		取組状況

	・学校園では定期的に安全点検を実施し、施設設備の確認を確実にしている。 ・各学校園の危機管理体制の強化と児童生徒等の安全意識の向上を図るため、対応の手引の確認、見直しや平素の訓練の実施により、安全教育の一層の推進に努めるよう指導している。 ・本市の「通学路等交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携し、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図った。 ・配慮を要する児童生徒への対応や緊急対応が必要な事案については、青少年育成センター等との連携を図り、相談員の巡回訪問等を行い、適切かつ迅速な対応ができた。 ・玉島警察署・補導協議会・見守り隊等多くの関係機関との連携により、児童生徒の安全な暮らしを推進することができている。
--	---

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
朝食摂取する生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(中3)97.0%	(中3)94.7%

課題・方向性	・子どもたちの運動量及び運動機会の確保に努める必要がある。 ・学校によっては運動能力に偏りがあったり、低下傾向であったりするところもある。学校全体としての取組を検討する。 ・交通安全に関しては、道路整備や安全施策も大事であるが、子どもたちへの安全指導も重要である。
自己評価	自己評価 B ・通学路等安全プログラムでは、各校からの改善要望をふまえて、関係機関と協議を行い、できる限り迅速に対応し安全確保に努めた。 ・体育の授業や業間運動を工夫しながら体力向上の取組を推進した。ただ、子どもたち個々において体力面での課題はあり、今後個々の実態に応じた取組の工夫が必要と考える。

＜基本事業＞ デジタル社会に対応した教育の充実

【担当：学校教育課】

G I G A ス ク ー ル 構 想 の 推 進	事業の内容	事業概要
	G I G Aスクール構想の推進	・学校におけるG I G Aスクール構想によるI C T機器の効果的な活用の研究推進 ・タブレット端末による協働学習の推進 ・プログラミング教育用教材の活用推進 ・I C T支援員の配置と適切な授業支援 ・メディアとより良く付き合う力を育むデジタルシティズンシップ教育の充実とメディアコントロールの推進 ・タブレット端末持ち帰り実施による家庭学習と授業との連動 ・令和8年4月から使用するタブレット端末の更新 ・G I G Aネットワークアセスメント調査に基づいたネットワーク環境整備の検討
		取組状況 ・日々の授業で端末を活用する場面が常態化している。 ・担当者による校内研修を実施したり、授業を公開したりして、1人1台端末を授業のどの場面で、どのように活用できるかを考え、個別最適な学びや協働的な学びの研究が進み、学習活動場面での端末活用の幅も広がっている。 ・G I G Aスクール構想を推進するための担当者研修を行った。 ・よりよい使い手の育成のため、「G I G Aワークブック」の活用を計画的に進めている。 ・端末の家庭への持ち帰りも日常化し、家庭学習と授業の連携が進みつつある。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
授業でのタブレットなどのICT機器の使用頻度 ※ほぼ毎日の割合 ※岡山県学力・学習状況調査による	(小5)60.0% (中2)50.0%	(小5)77.1% (中2)54.1%

課題・方向性	・授業場面での端末活用に関しては、積極的な活用が進んできている。 ・活用を進めていこうとする流れは大きくなっており、中学校での活用も進んできた。 ・また、教職員個々の活用意識の差やスキルの差によって、端末活用が進みにくい場合も散見される。
--------	---

	・学習場面におけるA I の活用が新たな課題となっているので、情報収集や実践の積み上げ、A I 活用の効果と課題についての研究を進める。 ・端末の活用が進む一方で、S N S 等関わり方が課題となるので、メディアの適切な活用について、継続的な取組が必要である。
自己評価	自己評価 A ・学習場面における端末の活用が進んできている。 ・教職員のスキルにより、活用の程度に関してはまだ差が見られるが、研修等を通して、徐々に抵抗感が少なくなり活用につながっている。 ・メディアとの付き合い方、情報活用の担い手として考えられるように「G I G A ワークブック」の年間計画を基に取り組むことができた。

<基本事業> 学校施設の整備・充実

【担当：教育総務課】

	事業の内容	事業概要
学習環境の整備・充実	施設・設備等の整備・充実	【学習環境の整備・充実】 ・校務用パソコン更新、資産管理ソフト導入 など 【施設・設備等の整備・充実】 ・金光小学校高所遊具撤去工事 ・暖房便座取付（金光吉備小学校・鴨方西小学校） ・金光吉備小学校南校舎トイレ排水改善工事 ・普通教室床部分張替え（鴨方東小学校・鴨方西小学校） ・照明器具L E D 化工事（鴨方東小学校・寄島こども園・竜南保育園） ・照明器具LED化実施設計業務委託（六条院小学校・鴨方中学校・金光幼稚園・鴨方東幼稚園・鴨方西幼稚園） ・給食棟解体等工事（鴨方東小学校・鴨方西小学校・六条院小学校） ・旧寄島学校給食センター解体工事 ・金光中学校運動場屋外給水管更新工事 ・金光中学校職員駐車場排水整備工事 ・鴨方中学校旧給食調理場改修工事实施設計業務委託 ・鴨方中学校特別教室棟屋上防水改修工事 ・寄島学園屋上防水改修工事 など
		取組状況
		【学習環境の整備・充実】 ・校務用パソコン更新、資産管理ソフト導入 令和8年1月完了

	【施設・設備等の整備・充実】 ・金光小学校高所遊具撤去工事 令和7年8月完了 ・暖房便座取付（金光吉備小学校・鴨方西小学校） 令和7年5月完了 ・金光吉備小学校南校舎トイレ排水改善工事 令和7年8月完了 ・普通教室床部分張替え（鴨方東小学校・鴨方西小学校） 令和7年8月完了 ・照明器具LED化工事（鴨方東小学校・寄島こども園・竜南保育園） 令和7年10月完了 ・照明器具LED化実施設計業務委託（六条院小学校・鴨方中学校・金光幼稚園・鴨方東幼稚園・鴨方西幼稚園） 令和7年9月完了 ・給食棟解体等工事（鴨方東小学校・鴨方西小学校・六条院小学校） 令和7年10月完了 ・旧寄島学校給食センター解体工事 令和7年9月完了 ・金光中学校運動場屋外給水管更新工事 令和7年7月完了 ・金光中学校職員駐車場排水整備工事 令和7年9月完了 ・鴨方中学校旧給食調理場改修工事実施設計業務委託 令和7年9月完了 ・鴨方中学校特別教室棟屋上防水改修工事 令和7年8月完了 ・寄島学園屋上防水改修工事 令和7年9月完了 ・寄島学園職員等駐車場整備工事 令和8年3月完了 ・鴨方中学校南棟2階屋上防水改修工事 令和7年12月完了 ・金光小学校土地購入 令和7年12月完了
--	---

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
照明器具LED化工事実施設計完了校園数	12校園	12校園
照明器具LED化工事完了校園数	6校園	6校園

課題・方向性	・昭和40年代から昭和50年代にかけて建築された学校施設が多く、更新の時期を迎えつつある。限られた財源や人員の中で、計画的に学校施設改修を行うため策定された学校施設長寿命化計画に基づき中長期的な計画のもとトータルコストの縮減や予算の平準化などを図ることが重要である。 また、常に安全面の管理を徹底し、未然に事故等を防ぐ努力を継続していくことも大切である。
--------	---

	照明設備が水銀灯や蛍光灯からLEDに移行していることから、計画的に学校施設のLED化を実施していく。 ・教育環境の整備には予算の裏づけが必要となるため、各学校・園の状況を正確に把握し、優先度を付けて対応しなければならない。しかし、財政状況が厳しく、要望が全ては予算化されていないのが現状である。
自己評価	自己評価 B ・子どもたちの安全・安心を最優先に捉え、緊急性を要する案件から施設整備及び修繕を行うことができた。また各学校・園が必要とする補修や改修について予算の範囲内で計画的に取り組み、適切な環境整備に努めた。特に突発的な修繕等についても、予算の範囲内で臨機応変に対応することができた。 ・施設保全計画表に基づき各学校・園の施設点検を行うことができた。

基本方針 2 豊かな人生を育む生涯学習の充実

＜基本事業＞生涯学習の充実

【担当：ひとづくり推進課】

人材育成活動の推進	事業の内容	事業概要
	地域を担う人材の育成	・地域の中高生と大人の語り場作り ・地域人材の発掘・育成 ・中学生・義務教育学校後期課程・高校生ボランティアの育成 ・各種事業のサポートやコーディネート等に携わるボランティアの育成 ・ボランティア育成のための研修会、情報交換会の開催
		取組状況
		・学校教育を地域ぐるみで支援するため、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアが学校の要請に基づいて活動した。各小・中・義務教育学校に地域学校協働活動推進員を委嘱し、学校と学校支援ボランティアの連携に努めた。 ・読み聞かせなど、子どもと触れ合う機会の多いボランティアを対象とした講座を開催した。
生涯学習活動の推進	事業の内容	事業概要
	生涯学習推進体制の充実	・公民館等の生涯学習拠点施設の活用推進 ・社会教育団体の支援、育成 ・市内高等学校及び近隣大学との連携強化 ・ドローン関連事業・スマートフォン講座などICTを活用した講座等の実施
		取組状況
		・実用的なアプリを使うスマホ教室などを引き続き実施した。 ・子どもと大人が同じ目標に向かって活動する、ドローンレースクラブを運営した。 ・社会教育団体の活動に対して、支援や助言を行った。 ・公民館のWi-Fi環境を活用し、リモート会議やインターネットを使った事業を実施した。
	市民ニーズに対応した学習機会の提供	・天草学級・みどりの大学・シーサイド大学などの各種講座による多様な生涯学習機会の提供 ・学びの成果を生かす機会の提供と充実
取組状況		
		・天草学級・みどりの大学・シーサイド大学（鴨方6回、金光9回、寄島6回）を実施した。

公民館活動の推進	事業の内容	事業概要
	地域と連携した公民館活動の活性化	・地域人材を活用した各種講座の実施 ・自主グループの育成 ・講座生等の成果発表の場の拡充
		取組状況
		・公民館講座や放課後子ども教室の講師に地域の人材を活用し、各種講座を実施した。 ・各公民館において、自主グループが社会教育の目的を持って活動した。
	幅広い層へ学習機会の提供	・社会教育団体の支援、育成 ・放課後子ども教室等、子ども向け講座の実施 ・ドローン関連事業・スマートフォン講座をはじめ、市民の多様なニーズや興味関心に応じた短期講座の充実 ・漢字検定、英語検定の実施
		取組状況
		・中学生を対象としたボランティア育成講座を行い、30人以上が受講した。ボランティア活動を通じた体験と学習をキーワードに、主催事業として「クリスマス工作会」や「子どもまつり」を行ったほか、「土曜夜市」や「あそびフェスタ」など、他団体が主催する事業にも参加し、ゲームコーナーの運営等を行った。 ・公民館講座は、各公民館で開講し、23講座を開催した他、数回の短期講座を開催した。 ・5月から3月の土曜日には、公民館で週末体験教室を14講座開催し、105人が受講した。 ・スマートフォン教室・デジタル講座を2公民館で5教室開催し、139人参加した。 ・浅口市ドローンフェス及び浅口市長杯ドローンレース大会を開催した。市長杯へは浅口市ドローンレースクラブ員も一部出場し、好成績を残した。
図書館活動の推進	事業の内容	事業概要
	図書館活動の推進、啓発、充実	・利用者のニーズに応じた図書等の収集・保存・情報提供 ・図書館・保育施設・学校等、市内施設での絵本の読み聞かせ事業等の実施 ・館の特色に応じた講座、展示など広く読書に親しんでもらうための事業の展開 ・広域連携ネットワークを利用した県立図書館等市外他館との貸出連携 ・インターネットを利用した図書貸出の推進
		取組状況
		・市立図書館合同の読書週間行事事業（本の処方箋）ほか、各館の特色を生かした学校との連携企画、お話会、企画展示、講演会、映画会などの事業を実施した。

広報・啓発活動	事業の内容	事業概要
	様々な媒体を利用した情報発信、広報啓発	・広報紙、ホームページ、メールサービス等を利用した参加者の募集、各種イベント情報の周知
		取組状況 ・広報紙・折込チラシで公民館講座生の募集を行った。 ・ホームページへ公民館講座の実施内容を掲載するとともに、講座生募集期間中は電子申請での申し込みを受け付けた。
家庭教育の推進	事業の内容	事業概要
	子育てに関する学習機会の提供、相談・支援体制の整備	・「家庭教育学級」、「家庭教育支援事業」などによる学習機会の提供 ・各種団体、機関等と連携した「届ける」家庭教育支援への取組 ・親育ち応援学習プログラムを活用した「親力アップ」の推進
		取組状況 ・市内小学校・義務教育学校において、参加型学習プログラム「親育ち応援学習プログラム」や講演を7校で実施した。
学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	事業の内容	事業概要
	地域学校協働本部事業をはじめとする、学校、家庭、地域が連携した取組	・地域学校協働活動事業の取組 ・大人も子どもも育ち合う、地域教育力向上のための体制整備 ・地域学校協働活動推進員の活動支援
		取組状況 ・学校教育を地域ぐるみで支援するため、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアが学校の要請に基づいて活動した。また、各小・中・義務教育学校に地域学校協働活動推進員を委嘱し、学校と学校支援ボランティアの連携に努めた。
	子ども体験活動教室を中心に地域ボランティアと連携した取組	・各公民館における子ども体験活動教室の開催 ・「夏GAKUサプリ」、「冬GAKUミニサプリ」を通しての体験活動等の充実 ・放課後児童対策パッケージに基づく、放課後児童クラブとの一体型の放課後子ども教室を市内全小学校・義務教育学校前期課程で実施
		取組状況 ・各公民館における週末の体験活動として、地域のボランティアの方々を講師とし、14講座の教室を開催した。 ・夏GAKUサプリは3公民館で49教室、延べ844人が参加。 ・冬GAKUミニサプリを開催し、計21教室、延べ262人が参加。 ・一体型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を4回実施し、地域のボランティアを講師に迎え、工作・ニュースポーツ等を実施した。

子ども読書活動の推進	事業の内容	事業概要
	「子ども読書活動推進計画」に基づく取組	・同じ目的で活動している機関・団体との連携によるネットワーク構築 ・活動の場の充実や情報提供 ・子どもの読書活動のきっかけづくりを目的として学校を通じた図書利用者カードの作成 ・児童生徒の読書活動の推進及び図書館の利用拡大のための学校司書と図書館司書等との連携
		取組状況
		・各館の特色を生かした子どもの読書週間企画を実施した。 ・学校と図書館との連携強化を行った。(学校を通じた図書利用者カード作成の実施) ・広報紙・ホームページ、マスコミへの情報提供による広報活動を充実した。 ・各校からの要請に応じて、図書館での職場体験を行った。
	発達段階に応じた子どもの読書活動の推進	・発達段階に応じた読書を生活リズムの中で位置付けられるような活動の推進
		取組状況 ・小学校低学年向け・高学年向け、中学生向けの図書館だよりを年3回発行した。 ・小学生の図書館見学の受け入れを行った。 ・読み聞かせボランティア等対象の講座を実施した。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
公民館講座・短期講座数	35講座	28講座
公民館利用者数	55,000人	33,276人
放課後子ども教室の実施回数	14回	14回
Wi-Fi環境を活用した講座等の実施回数	3回	10回
貸出図書数	135,000冊	150,847冊

課題・方向性	・「ボランティア育成講座」「プログラミング教室」は今後も充実させていく。 ・Wi-Fi環境を活用し、ボランティア育成講座、プログラミング教室、スマートフォン教室を実施した。 ・公民館講座は、市民のニーズに沿った新たな定期講座や短期講座を実施することが必要である。 ・子どもの読書活動の推進については、読書活動推進計画を中心に、家庭・行政等が一体となって取り組んでいくことが必要である。
--------	---

自己評価	自己評価 A ・ボランティア育成講座、ドローン関連事業、スマホ教室のほか、冬GAKUミニサプリを継続して実施するなど、様々な世代を対象に、時代に即した生涯学習・社会教育を推進することができた。
------	--

＜基本事業＞ 青少年健全育成団体の活動支援

【担当：ひとつくり推進課】

	事業の内容	事業概要
青少年健全育成の推進	子ども育成条例に基づいた、家庭・学校・地域・企業及び行政が連携した教育推進	・地域全体で子どもを育てるための学校・家庭・地域・企業及び行政等の連携強化
		取組状況
	青少年団体活動の活性化	・学校・家庭・地域・企業・行政のパイプ役として、青少年育成センターが中心となり、補導活動や啓発活動の取組を行った。
		・浅口市青少年育成活動協議会による研修会の実施
		・青少年育成団体の活動支援
	青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開	・各団体への補助、支援
		取組状況
		・青少年育成活動協議会による各種イベント等の支援を行った。
		・ボーイスカウト・子ども会・はるか会・にじの会・風の子による青少年健全育成活動の支援を行った。
		・青色パトロールや学校訪問による児童・生徒の安全確保強化
		・街頭補導業務
		・小・中・義務教育学校のあいさつ運動への参画
		・相談業務
		・有害図書回収等による環境浄化
		・街頭キャンペーン等による啓発活動の実施
		取組状況
		・センター長及び指導員が中心となり、毎月実施の定例補導に加え、夜間特別補導や列車補導を実施した。
		・小・中・義務教育学校へのあいさつ運動に参加し、地域に寄り添った活動を実施した。
		・相談員が定期的に市内小学校・中学校を巡回し、児童・生徒の見守りを行いながら、学校との情報共有も行った。
		・広報紙やホームページを活用して、相談業務をPRした。
		・市内3か所に設置している白ポストを活用して、有害図書やDVDの回収を行った。

	・岡山県青少年健全育成強調月間にあわせ、7月と11月にJR鴨方駅・金光駅周辺で啓発活動を実施した。 ・3月に青少年の集いを実施し、和太鼓の披露、明るい家庭づくり作文優秀作品発表、講演会を行った。
--	--

課題・方向性	・青少年健全育成を目的とした各種団体間で連携を図るとともに、地域全体で家庭教育を行っていく社会構築が必要である。
自己評価	自己評価 A ・青少年育成センター業務は、学校や警察署と連携し、きめ細やかな対応を行った。

＜基本事業＞社会教育施設の整備・充実【担当：ひとづくり推進課】

社会教育施設の整備・充実	事業の内容	事業概要
	公民館、図書館など社会教育施設の整備・充実	・施設間で情報を共有する等のネットワークの強化 ・各公民館及び図書館におけるWi-Fi環境の活用 ・中央公民館陶芸窯の更新
		取組状況 ・陶芸窯を更新し、創作活動の活性化を図ることができた。
岡山天文博物館の円滑な管理・運営	事業の内容	事業概要
	天文台のあるまちとしての特色を活かした博物館の運営	・開館記念日事業「あさくち天文台フェスタ」及び天文や宇宙に関する知識を深めるための事業の実施 ・タッチパネル式大型モニターなどデジタル展示物の活用 ・広いスペースを生かした体験型事業や講演会の充実 ・SNS等を利用したオンライン事業や情報発信 ・おかやま山陽高校の50cm反射望遠鏡を活用した連携事業の実施
		取組状況 ・開館記念日事業「あさくち天文台フェスタ」として、国立天文台、京都大学と連携し、工作や天文台ツアー、スタンプラリー、記念講演会等を行った。 ・小学校4～6年生を対象に、天文学の基礎や望遠鏡の使い方などを学ぶ体験講座「こども天文クラブ」を年7回開催した。 ・平成30年4月1日から「浅口市日本一の天体観測適地を守る条例」を施行したことに伴い、七夕の時期にライトダウンキャンペーンを実施した。

		・夏休みは宇宙人をテーマにしたプラネタリウム番組にあわせて企画展「宇宙人のさがしかた」を開催した。 ・冬に「こどもまつり」と銘うち、工作教室や星に関するビンゴゲーム等、幼児や子どもを対象とした科学イベントを開催した。 ・その他各種講座・イベント（観望会・宇宙☆自然講座・望遠鏡工作・かがく広場・天文台講座・幼児向けプラネタリウム等）を開催した。また、プラネタリウム室の多目的利用として、コンサートや、新規で星空ヨガなどの事業も開催した。いずれも大変好評で、毎回ほぼ満員の参加者があった。 ・博物館通信を、市内小学校（４年生以上）・中学校に配布した。 ・３公民館、３図書館及び金光駅・鴨方駅構内通路の掲示板にイベントポスターを掲示し、広報に努めた。 ・「岡山天文博物館友の会」の定期活動を支援した。
	国立天文台188cm望遠鏡に関する事業	・教育及び天文学の普及を目的とした188cm望遠鏡の学習利用及び観望会事業等の実施 ・188cm望遠鏡を利用した観光事業への協力 ※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、188cm望遠鏡の利用停止。令和７年春、事業再開予定
		取組状況
	京都大学3.8mせいめい望遠鏡に関する事業協力	・令和７年春に、ドーム工事が完了し、観測を再開したことから、４月に再開記念イベントを開催。５月から、見学ツアー（毎月１回）や観望会（季節ごと年４回）を再開した。
		・せいめい望遠鏡関連資材の展示協力 ・せいめい望遠鏡見学の受入及び電視観望会の開催
		取組状況
	岡山理科大学、京都大学との教育協力	・外回廊からの自由見学を引き続き実施した。 ・天文台ドームの中での望遠鏡見学ツアーを、毎月１回程度の頻度で実施した。 ・電視観望会を季節ごとに年４回開催した。
		・博物館主催事業への講師派遣 ・博物館実習の受入
		取組状況
		・岡山理科大学との教育協定に基づき、天文教育普及と人材育成を目標に同大と連携し、博物館実習の受け入れを行った。

課題・方向性	・今後も各施設を適正に管理し、修繕等により利用者の安全と利便性の向上に努める。 ・今後も岡山天文博物館の教育及び観光の両方の活用を視野に入れ、積極的な事業展開と広報を行っていく。 ・京都大学、国立天文台とより連携し、魅力的な事業を展開し周知していくことが課題である。
自己評価	自己評価 B ・各公民館や社会教育施設は、修繕工事により安全性と利便性の維持に努めているが、施設の老朽化もあり、今後も適切なメンテナンスが必要である。広く市民に利用を促し、社会教育・生涯学習の促進を図っていく。 ・岡山天文博物館では、予定していた事業はすべて実施することができた。また学校との連携に向けて、授業の様子を視察したり、学校との検討会議に参加したりするなど、継続して行うことができた。 ・国立天文台や京都大学と協力し、施設の特別公開等の記念事業等を開催できた。また、せいめい望遠鏡等で撮影した天体画像等の紹介動画の配信及び展示室での公開や、テレビ観望会の開催など、天文のまちあさくちならではの事業を継続して開催することもできた。国立天文台、東京工業大学（令和6年10月から東京科学大学）との協定締結も8年目を迎え、また国立天文台188cm望遠鏡の観測も再開したことから、より有効な活用方法を検討するとともに、関係各機関・部局との連携及び新たな事業展開が必要である。

(参考) 資料3 関連

貸出図書数/年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
鴨方図書館	67,585冊	80,496冊	89,753冊	69,701冊	79,525冊
金光さつき図書館	37,333冊	45,521冊	52,526冊	55,357冊	52,373冊
寄島図書館	13,489冊	15,992冊	17,336冊	19,066冊	18,949冊
計	118,407冊	142,009冊	159,615冊	144,124冊	150,847冊

基本方針 3 スポーツ活動の振興

＜基本事業＞スポーツ推進計画の推進 【担当：ひとづくり推進課】

スポーツ推進計画の推進	事業の内容	事業概要
	スポーツ推進計画の推進	・スポーツ推進計画に基づく事業実施及び進捗状況の確認
		取組状況
	各種スポーツの推進	・スポーツ推進計画（計画期間：令和3年度～12年度）に基づき、市マラソン大会等を実施した。
		・ライフステージに応じたスポーツの推進
		・障害者スポーツの推進
		・スポーツ・レクリエーション活動の推進
		・ハイレベル技術に触れる機会の充実
		・ニュースポーツ活動の推進
		取組状況
		・スポーツ・レクリエーション活動の推進を行った。
		・スポーツ少年団の団員数増加のための体験教室を行った。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
スポーツ教室の開催数	30回	25回

課題・方向性	・ライフステージに応じた生涯スポーツの推進及びスポーツ・レクリエーション活動の推進を行っていく必要がある。 ・また、ハイレベル技術に触れる機会の充実を図っていく必要がある。
自己評価	自己評価 A ・浅口市マラソン大会を行うことができた。 ・スポーツ少年団ごとに団員数増加のための体験教室としてスポーツ教室を開催した。

＜基本事業＞各種スポーツ団体の育成・支援

【担当：ひとづくり推進課】

各種スポーツ団体の育成・支援	事業の内容	事業概要
	各種スポーツ団体の育成・支援	・スポーツ推進委員活動の充実 ・スポーツ協会、スポーツ少年団への活動支援 ・全国大会等に出場する選手への激励金の交付 ・国際大会等出場選手の激励懸垂幕の掲揚 ・中学校・義務教育学校後期課程の休日部活動における地域指導者の確保 ・誰もが自由に参加できるスポーツフェスタの実施
		取組状況 ・年度末に各学校・園に対して市内スポーツ少年団の入団希望を募り、29名の入団希望があった。また、団員の追加募集も行った。 ・スポーツ推進委員による放課後子ども教室を4回実施した。 ・部活動の地域移行に向けて、「部活動地域移行検討委員会」を3回開催した。内容は地域クラブ活動のプレ実施内容の検討、結果と課題の報告、次年度からの方向性について協議。（学校教育課と連携） ・誰もが自由に参加できる市民参加型のスポーツイベント「あさくちスポーツフェスタ」を3月に実施した。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
スポーツ推進委員による放課後子ども教室の実施数	3回以上	4回
激励金交付者(団体)数	70人(団体)	70人(団体)
スポーツ少年団への加入率	25%	22.8%

課題・方向性	・スポーツ推進計画を基に、生涯スポーツの普及・推進に努め、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめるよう環境づくりを進めていく。 ・休日の部活指導の地域指導員への移行を見据え、今後、人材発掘を進めていく。 ・スポーツ少年団の指導者の発掘や資質向上のための研修参加の呼び掛けを引き続き行っていく必要がある。
--------	---

自己評価	自己評価 B ・各種大会の参加者数やスポーツ少年団の入団員数をみると、これまでの広報活動には一定の成果が見られるが、少子化の影響により減少していくことが考えられるので一層の広報活動が必要だと思われる。 ・放課後子ども教室で、ニュースポーツ体験をスポーツ推進委員が中心となり実施した。
------	---

＜基本事業＞スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実及び活用	手軽にスポーツを楽しめる施設の整備・充実	・公共施設予約システム活用による利便性の向上 ・寄島B&G海洋センター体育館改修工事 ・体育施設の改修及び老朽化した備品の更新 ・ニュースポーツ用品の計画的な整備 ・学校体育施設の開放 ・温湿度センサー（LPWAの活用）による、熱中症予防対策
		取組状況
		・温湿度センサー（LPWAの活用）の運用を開始し、熱中症を予防した。
	利用者間の連絡、調整による有効活用及び利用者への情報発信	・スポーツ協会、スポーツ少年団等の各種団体の事業計画に基づく調整 ・施設の貸出方法等の調整 ・ホームページ等による市内施設の情報発信
		取組状況
		・市内施設の貸出方法等について協議し、予約システムを運用している。 ・各種団体の事業計画に沿って調整を行い、各団体が必要とする体育施設を利用できるようにした。また必要に応じて代替施設を利用できるよう調整を行った。 ・ニュースポーツ体験教室（放課後こども教室）を4回実施し、ニュースポーツの普及に努めることができた。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
スポーツ施設の利用者数	220, 000人	257, 929人
スポーツ・レクリエーション事業数	9事業	9事業

課題・方向性	・今後も各施設を整備し、利用者の利便性と安全性の向上に努めていく必要がある。 ・引き続きニュースポーツ用品の整備に努め、他事業とも連携して普及の場を広げていく必要がある。
自己評価	自己評価 B ・体育施設の更なる利便性・安全性の向上に努める必要がある。また、スポーツ推進委員が中心となりニュースポーツの普及・推進をしていくことで、スポーツに親しめる環境づくりができるものとする。 ・屋内施設については、常時の換気などを行う。

(参考) 資料3から抜粋

利用者数/年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
天草公園	47, 458人	49, 868人	71, 026人	69, 015 人	72, 441 人
ふるさとかもがたプラザ	11, 432人	14, 559人	27, 438人	32, 438 人	32, 269 人
鴨方B&G海洋センター	3, 175人	8, 916人	9, 736人	9, 501 人	10, 962 人
遙照山総合公園	5, 605人	7, 675人	5, 634人	6, 238 人	6, 396 人
金光駅西公園	15, 959人	16, 360人	13, 540人	14, 011 人	13, 012 人
金光スポーツ公園	17, 884人	18, 867人	16, 226人	29, 323 人	28, 997 人
寄島B&G海洋センター	6, 223人	10, 347人	9, 258人	7, 924 人	10, 411 人
三ツ山スポーツ公園	18, 672人	31, 320人	44, 164人	46, 864 人	46, 965 人
寄島運動場	1, 519人	3, 781人	4, 134人	3, 943 人	6, 992 人
寄島東体育館	4, 966人	7, 103人	8, 917人	7, 345 人	6, 874 人
寄島武道場	3, 597人	5, 536人	5, 292人	6, 683 人	6, 768 人
寄島テニスコート	1, 719人	2, 984人	3, 247人	2, 951 人	2, 698 人
フットサル場	5, 281人	8, 378人	11, 909人	11, 406 人	13, 144 人
計	143, 490人	186, 694人	230, 521人	247, 642 人	257, 929 人

基本方針 4 歴史文化の保全活用と芸術文化の振興

＜基本事業＞歴史・文化的資源の保全・活用

【担当：ひとづくり推進課】

文化財の保護・保存・公開・普及活動	事業の内容	事業概要
	歴史を伝える財産の適切な保全と資料館等での公開、伝承	・市指定文化財等の調査や保護 ・市指定名勝三郎島（三ツ山）の景観復元 ・市指定天然記念物アッケシソウ自生地環境整備 ・アッケシソウについて北海道厚岸町との交流 ・祭り・行事の悉皆調査 ・市民の文化財等に対する理解や知識を深める機会の提供 ・文化財等管理団体の活動支援及び顕彰 ・埋蔵文化財の試掘確認調査等の実施及び遺跡や出土品の保護や記録保存 ・かもがた町家公園、阿藤伯海記念公園の管理運営 ・資料館での資料の公開 ・町並み保全
		取組状況 ・市指定有形文化財「龍宮門（旧正伝寺山門）」の計測調査を行った。 ・市指定有形文化財「朝倉薬師如来坐像」の総合調査を行った。 ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、雑木の剪定や清掃等の環境整備を継続的に行った。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」は、景観整備事業として植生調査、クロマツの維持管理及び植栽を行った。 ・市指定文化財「谷田来右衛門・谷田弥五右衛門墓碑」は、文化財説明看板の修繕等の環境整備を継続的に行った。 ・市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」では、A地区に設置した海水導入施設の効果によりヨシが減退し、アッケシソウの生育状態が良好となり、紅葉面積が拡大した。C地区では、枯死樹木を伐採し景観を改善した。また、浅口市寄島町アッケシソウを守る会や岡山理科大学と協力して、調査や保護活動を展開した。アッケシソウキバガの食害対策として、薬剤散布を継続的に行った。アッケシソウ自生地の説明看板1基を修繕を行った。 ・北海道厚岸町との交流事業では、両市町のアッケシソウの生育状況を月毎に掲載した「浅口と厚岸のアッケシソウ」で情報発信を行った。

	・市内に所在する近代建造物調査を行い、保護及び指定等に必要な基礎データを収集した。 ・岡山県祭り・行事調査事業では、市内の伝統行事の悉皆調査を基礎調査員と協力し実施した。 ・浅口市文化財講座は、「緑のアクセシソウを楽しむ会」「浅口市の文化財庭園と長川寺『庭園築造日誌』」「絶滅危惧種アクセシソウの保護・保全」を実施した。 ・市指定無形民俗文化財の保存団体が行う保存活動事業に対し、補助金の交付や民間助成を紹介し、事業の継続や活性化を促した。 ・市内遺跡の開発行為に係る協議等を行い、開発事業と遺跡の保護の調整を図った。また、東郷遺跡、竹林寺天文台遺跡と散布地2箇所を確認調査を行い、遺跡の内容把握に努めた。発掘調査後の未整理の遺物等の資料整理を行い、保存措置を図った。 ・分布調査、立会調査や確認調査の結果について、岡山県教育庁文化財課に周知の埋蔵文化財情報更新を適宜報告し、全県型総合型GISの遺跡の情報更新を図った。 ・岡山県指定重要文化財の旧高戸家住宅と市指定史跡町家跡の公開をかもがた町家管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開園した。旧高戸家住宅は、障子等の修繕を行った。市指定史跡内では、交流館の畳や障子、北倉の漆喰壁の修繕を行った。 ・市指定史跡の阿藤伯海旧居は、阿藤伯海記念公園管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開園した。市指定史跡内では、奥離れ屋の障子、居間の障子、長屋門と蔵の漆喰壁の修繕を行った。庭園の枯死したクロマツを伐採し修景を行った。 ・国特別天然記念物コウノトリの飛来について、市ホームページに掲載し情報発信を行った。 ・六条院小学校の出前講座では、古墳時代後期の横穴式石室を有する古墳の模擬調査等を昨年度に引き続き実施した。 ・資料館については、日常の維持管理と収蔵資料の整理とともに、古文書や民具類の燻蒸等を行った。また、寄贈資料の整理作業を行った。 ・資料館所蔵資料の活用では、原田文学館に阿藤伯海先生の資料を貸出し企画展「阿藤伯海展」に協力した。 ・町並み保全では、備中町並みネットワークと協力し、地域の情報を共有できた。
--	--

課題・方向性	・文化財を保護継承していくためには日常から保存状態の把握に努め、不測の事態が生じた場合には早急に対応できるように、予算の確保が課題となる。 ・市内の重要な文化財については、関係者との協議を踏まえ指定や登録に務める。 ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、幕末の景観を復元するために、環境整備を
--------	---

	継続的に進める。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」は、植栽したクロマツの維持管理に継続的に取り組む。 ・市指定文化財について、修理や管理等の保存する上で必要な指導及び助言を図る必要がある。 ・市民共有の財産である貴重な文化財の保存と活用については、所有者や行政だけではなく、市民団体や地域住民と協働してその取組を推進することが必要である。 ・市指定無形民俗文化財では、全ての文化財が公開された。 ・埋蔵文化財の保護については、今後増加が予想される発掘調査に対応するための効率的な事務執行ができる体制整備の構築が必要である。
自己評価	自己評価 B ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、景観保全を進めることができた。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」の景観整備事業では、クロマツの維持管理を計画通り推進することができた。 ・市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」では、説明看板の改修やC地区の枯死した樹木の伐採を実施し、環境を整備できた。また、アッケシソウ自生地の新地区となる「F地区」について、浅口市アッケシソウを守る会等の協力により16年ぶり発見することができた。 ・浅口市寄島町アッケシソウを守る会、上竹ホタルを守る会、鴨方ひがさき踊り保存会の文化財保護活動について、顕彰することができた。 ・令和6年度に岡山県指定名勝となった「龍城院庭園」の公開事業について、所有者と協力し周知を行い、多くの方々が文化財に親しまれた。 ・埋蔵文化財の分布調査では、中世山城「愛宕山城跡」を浅口歴史探訪会の協力により新たに発見した。 ・今後は、これまでに得られた文化財の情報を文化財講座等に活用し、市民の理解を深めるための学習機会をさらに充実させる必要がある。

<基本事業> 芸術文化活動の振興

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
芸術文化活動の普及と	各種団体及び学校との連携による芸術文化活動の発展	・芸術文化活動への参加の奨励 ・自発的、積極的な文化活動の推進 ・国や県が実施する小学校・中学校・義務教育学校向け文化芸術体験事業の周知及び取り次ぎ ・地域の芸術文化活動団体に取り組む子どもの芸術文化体験事業への支援

振興		取組状況
		・市立小学校・中学校・義務教育学校に対して、文化庁や岡山県主催の芸術文化関連事業の紹介を行った。令和7年度は、六条院小学校が採択された。 ・高梁川流域連盟事業として、金光公民館において高校生絵画展、フォトコンテスト展を開催した。 ・浅口市総合文化祭については、金光・鴨方・寄島の各会場において、同日に実施した。各会場では、各町の公立幼稚園・こども園・小中義務教育学校の園児児童生徒の作品展も開催した。

課題・方向性	・市民が芸術文化活動に触れる機会を増やすため、文化祭や音楽会等の事業の広報に努める。また、子どもが芸術文化活動へ触れる機会を増やすため、体験コーナーや発表の場を提供するなど芸術文化活動の入り口となるような事業強化に努める。 ・高梁川流域連盟事業の継続により、流域間における文化交流を促進する。 ・各団体の主体的な取組を支援していく。
自己評価	自己評価 A ・総合文化祭では、子ども達の作品展示を行った。芸術文化に触れる機会を確保するため、実行委員会と連携して本事業を継続的に実施するとともに、来場者の増加を目指していきたい。 ・高梁川流域連盟の事業により、機関誌発行や展示会などを通じて、流域内での浅口市の存在感を高めるとともに、文化交流を図ることができた。

＜基本事業＞文化施設の整備・充実 【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
かもがた町家公園の円滑な管理	かもがた町家公園の円滑な管理・運営	・かもがた町家管理組合による伝承館や公園周辺文化遺産の案内 ・個人や団体へのふれあいの館、交流館などの貸館事業 ・かもがた町家管理組合との協働事業
		取組状況
		・市民活動の支援並びに市民相互の交流及び連携の促進のために、「交流館」と「ふれあいの館」の貸館事業を行った。 ・伝承館（岡山県指定重要文化財「旧高戸家住宅」）・郷土の館・交流館は、地域の歴史を学び文化を継承する場として活用した。 ・かもがた町家管理組合に、伝承館等の案内、公園の清掃、文化事業を委託して事業を実施した。

理・運営	来園者に憩いと安らぎを与えられる管理と温かいおもてなしの心の運営	・かもがた町家管理組合による食堂事業 ・かもがた町家管理組合による植栽や広場などの施設整備 ・親子のふれあいの場となる事業の実施 ・避難訓練の実施など安全管理の体制づくり
		取組状況
	地域に伝わる伝統文化の継承事業の展開	・親子のふれあいの場となる水遊び場を開設した。 ・かもがた町家管理組合に、交流館の一部を食堂「まちや亭」として貸出し、近隣の方々の憩いの場となっている。 ・駐車場の区画線や掲示板の修繕と高木等の伐採を実施し、園内の環境保全に努めた。 ・第72回文化財防火デーに合わせて、文化財火災防衛訓練を実施した。
		取組状況
阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	事業の内容	・小学生・義務教育学校前期課程を対象とした町家塾の開講 ・節句などの年中行事にあわせた事業 ・歴史文化をテーマにした町家公園講座の実施
		取組状況
	郷土先人である阿藤伯海の顕彰	・町家塾として、麦稈真田組み・お茶の点て方体験・鋳造体験・春の七草粥作り等を小学生12名と保護者を対象に年9回実施した。 ・企画展は、伝承館で節句にあわせて雛人形展と五月人形展を開催し、芝生広場で鯉のぼりを展示した。 ・年末年始は、正月の装いで門松や正月飾りを展示した。 ・体験事業では、そうめん流し・鴨山めぐり・とんど焼きを開催した。また、大人（おせら）向けの「ものづくりとむかしばなし」を4回実施した。 ・備中町まち並みネットワークの事業として、「お茶の点て方体験」「投扇興体験」「琴の演奏体験」「まち歩き～鴨方往来～」「地元醤油を使ったタレづくり」を開催した。 ・「まちや寄席」「町家スプリングコンサート」を開催した。 ・小学校の校外学習や高等学校の地域学習の受入れを行った。
		取組状況
文化交流施設として活用される施設の管理運営	事業の内容	事業概要
		・阿藤伯海等に関する展示品の管理 ・阿藤伯海に関する資料の作成 ・阿藤伯海記念公園管理組合による展示品や園内の説明
文化交流施設として活用される施設の管理運営	郷土先人である阿藤伯海の顕彰	取組状況
		・阿藤伯海先生の資料を整備し、視覚的に分かりやすい展示説明を行った。 ・阿藤伯海記念公園管理組合により、来園者に対する施設等の案内・説明が実施された。
文化交流施設として活用される施設の管理運営	文化交流施設として活用される施設の管理運営	・個人や団体への貸館事業 ・阿藤伯海記念公園管理組合との協働事業 ・避難訓練の実施など安全管理の体制づくり

取組状況	
	・市民の文化活動の推進及び相互交流のため、虚白室等の貸館事業を行った。 ・お香講座を開講し、参加者は日本文化に親しむことができた。 ・開園20周年記念講演会「阿藤伯海と藤門の書生たち」を開催し、阿藤先生の人柄を紹介することができた。 ・流芳の丘や庭園の植物の保守することで、来園者の安全を確保した。 ・阿藤伯海旧居の案内看板1基を修繕した。 ・第72回文化財防火デーに合わせて、消火器の位置の再確認や利用者の避難誘導ルート等を確認するなどの文化財火災防御訓練を実施し、安全に対する認識を深めた。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
文化振興事業数	28事業	28事業

課題・方向性	・かもがた町家公園の事業は、他の教育施設と比較し、歴史的な環境の中で伝統文化を体験できるという点で希少性がある。この点を町家公園のブランドイメージとして確立できるよう、今後も魅力的な事業を計画し、継続的に広報宣伝を行う。 ・かもがた町家公園では、管理組合員の確保が急務である。園の管理と事業運営には経験が不可欠であるため、現場での継承の機会を確保する。 ・阿藤伯海記念公園では、管理組合の高齢化と会員減少が進んでおり、若手組合員の加入が喫緊の課題である。
自己評価	自己評価 B ・かもがた町家公園は、かもがた町家管理組合との連携で特色ある管理運営を行うことができた。また、地域住民が地域の歴史、文化、人々の暮らしに親しむ機会を提供することができた。 ・阿藤伯海記念公園では、団体客受入時における対応などを管理組合と連携して行うことができた。 ・かもがた町家公園及び阿藤伯海記念公園では、課題となっている後継者育成や若手組合員増への有効な対策がとれていない。

(参考) 資料3から抜粋

入館者数/年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
岡山天文博物館	8,533人	12,667人	11,916人	13,264人	12,569人
かもがた町家公園	12,232人	21,563人	23,870人	21,222人	18,715人
阿藤伯海記念公園	1,401人	1,474人	1,458人	1,433人	1,464人

基本方針5 グローバルな感性を育む国際交流の促進

<基本事業> 国際交流の推進

【担当：ひとづくり推進課】

姉妹都市（豪州・ティーツリーガリー市）、友好都市（中国・高安市）との交流	事業の内容	事業概要
	友好交流による相互理解	・中国高安市青少年派遣事業の実施 ・豪州青少年受入事業の実施 ・友好訪問団受入事業の実施
		取組状況 ・豪州・ティーツリーガリー市からの高校生訪問団を受入れ、学校等で交流を行った。
交流を通しての国際理解	事業の内容	事業概要
	異文化交流による国際感覚の醸成	・外国人のための日本語講座など多文化共生社会の実現に向けた事業の実施 ・浅口市国際交流協会による定期的な国際理解講座や国際交流フェスティバルの実施 ・浅口市国際交流協会によるアメリカ大学生等ホームステイ受入事業
		取組状況 ・多文化共生社会の実現に向けた事業として、外国人のための日本語講座を実施した。 ・市国際交流協会が実施する外国人等との交流事業「国際理解講座」や国際交流フェスティバル、アメリカ大学生等ホームステイ受入事業を通して、一般市民や子ども達が気軽に外国人等と会話ができる機会を持てるよう支援を行った。

課題・方向性	・在住外国人が増加傾向にあり、多文化共生社会の実現に向けた取組の必要性は増してくるものと考えられることから、市国際交流協会の活動は益々重要となる。市民の主体的な活動や人材育成への支援が求められる。
自己評価	自己評価 B ・中国高安市への青少年派遣事業は実現に至らなかった。 ・モデブリー高校生を市内一般家庭でホームステイの受入をし、市民の国際交流を推進し、国際理解を図ることができた。 ・多文化共生社会の実現に向けた事業として、外国人のための日本語講座を継続して実施しているが、周知方法等を工夫し、受講者増を図る必要がある。 ・市国際交流協会が実施する「国際理解講座」、「国際交流フェスティバル」等については、講師紹介等の支援を行い、多様な講師・テーマで実施された。

＜基本事業＞国際的に活躍できる青少年の育成

【担当：ひとづくり推進課】

コミュニケーション能力の向上	事業の内容	事業概要
	意思伝達能力の向上	・ 青少年海外派遣事業の実施 ・ 中国高安市青少年派遣事業の実施（再掲） ・ 中学生英語スピーチコンテストの開催 ・ 豪州青少年受入事業の実施（再掲）
		取組状況 ・ 青少年海外派遣事業（サイパン）を実施し、6名の市内中学生を派遣した。 ・ 中学生英語スピーチコンテストは、当初の予定どおり実施することができた。また、スピーチコンテストに合わせて、小学生の英語発表を実施した。

課題・方向性	・ 実際に英語を使う機会やコンテストなどの発表の場があることは、英語学習の意欲向上につながっていると思われる。対面だけでなく、ビデオ通話をはじめとしたオンライン交流事業等の実施により、コミュニケーション能力向上の機会を確保する。
自己評価	自己評価 A ・ 青少年海外派遣事業を平成31年度以来の実施となり、サイパンへ派遣することができた。 ・ 中学生英語スピーチコンテストについては、当初の予定どおり実施することができた。また、スピーチコンテストに合わせて、小学生の英語発表の機会を設けることができた。

＜基本事業＞国際理解教育の推進

【担当：ひとづくり推進課】

ALTを活かした英語	事業の内容	事業概要
	英語に親しみやすい環境づくり	・ 保育園、幼稚園、こども園での英語活動の実施 ・ 小学生・義務教育学校前期課程を対象とした初級英会話講座の実施 ・ 英会話動画の公開 ・ ALT同士の情報交換や共同教材の作成を目的とした定期的なミーティングの実施

活動の充実		取組状況
		・保育園・幼稚園・こども園では、ALTによる英語活動を行った。 ・6月からALTの協力を得て小学生を対象に英会話講座を月1回開催したところ、延べ約150人の参加があった。 ・青少年海外派遣事業でサイパンへ派遣する中学生に対し、ALTによる日常会話等の英会話の研修会を行った。 ・時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として、ALTによる英会話動画をインターネットで引き続き公開した。 ・ALT同士の情報交換及び意見交換を定期的に行った。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
国際交流事業参加者数	600人	595人
ALTを活用した学校以外の事業数	5事業	5事業

課題・方向性	・英会話講座については、引き続き全ALTの協力のもと、小学校での英語教育の内容も考慮しながら、コミュニケーション能力の向上や異文化理解が図られるよう、内容の充実を図る。
自己評価	自己評価 B ・幼児期から英語に慣れ親しむ環境があり、英語に対する興味・関心が高まっている。 ・英会話講座及び海外派遣参加者の中学生の英語学習は、子ども達の実践的なコミュニケーション能力の向上や異文化理解に繋がっている。 ・英会話動画は、時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として提供することができた。

基本方針 6 だれもが活躍できる社会の実現

＜基本事業＞人権啓発、人権教育の推進【担当：ひとづくり推進課】

人権教育の推進	事業の内容	事業概要
	人権問題に関する正しい理解と認識を深めていくための啓発、研修活動の実施	・ 基本的人権が尊重される社会の実現を目指した研修活動等の実施 ・ 市民課、地域創造課等の人権啓発担当課との連携強化
		取組状況
	学校教育、社会教育と連携した人権教育の総合的な推進	・ 人権教育推進協議会総会を開催し、人権教育に関わる令和6年度の事業報告並びに令和7年度の事業計画について審議した。 ・ 人権教育指導者養成講座を年5回、時代に即したトピックを盛り込んで実施した。
		取組状況
人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	事業の内容	事業概要
	学校、家庭、地域、職場、関係団体機関など、人権啓発・教育の中心となる指導者・リーダーの養成	・ 学校、家庭、地域、職場などにおける人権啓発・教育のリーダーの養成 ・ 人権問題の正しい知識と理解などについての研修の実施
		取組状況
人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	学校、家庭、地域、職場、関係団体機関など、人権啓発・教育の中心となる指導者・リーダーの養成	・ 人権教育指導者養成講座を実施した。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
人権教育指導者養成講座数	5回以上	5回

課題・方向性	・指導者養成講座について、その時代・時期に応じた課題をテーマとした講座を開催するよう努力するとともに、講座の修了生が継続的に研修できるプログラムの企画・運営や全ての市民の人権が尊重される社会の実現のために、内容や方法を工夫する必要がある。 ・小学校・中学校のPTA人権教育研修会では、参加率を高めるために、研修内容・日程等工夫が必要である。
自己評価	自己評価 B ・人権教育推進協議会総会での計画に沿って、人権教育を推進することができた。 ・それぞれの活動及び研修において、正しい理解や人権意識を高めることができ、参加者が主体的に関わる活動を実施することができた。

基本方針7 安心して産み育てることができる子育て支援の充実

＜基本事業＞出産・育児・保育サポートの充実

【担当：保育未来課】

子育て環境の整備・充実	事業の内容	事業概要
	質の高い保育提供体制の確保	・子ども・子育て支援事業計画の推進 ・幼児教育アドバイザー及び特別支援アドバイザーによる園訪問と保育に関する指導・助言の実施 ・園・小学校・義務教育学校前期課程の架け橋期におけるカリキュラムの構築と推進 ・公立園における計画的な施設整備と私立園に対する施設整備補助 ・園長会等を通じた各園の連携体制の強化 ・子ども・子育て支援法に基づく、特定教育・保育施設等に対する指導監査の実施 ・保育支援者配置に対する私立園への補助の拡充 ・国県の補助事業を活用した私立園に対する運営支援 ・公私立園のICT化の推進 ・井笠管内における広域入所連携の継続実施 ・性被害防止対策設備導入を支援
		取組状況 ・子ども・子育て会議を1回開催し、第3期子ども・子育て支援事業計画の事業の取組み状況等の報告を行った。 ・発達支援研修や発達支援アドバイザーによる巡回訪問など行い、保育支援の助言等を行い、若手職員等の保育の質の向上に努めた。 ・公立・私立園長連絡会を1回開催し、令和7年度の研修、就学支援委員会等について説明し、情報交換を行った。 ・私立園に対し、保留児童等の状況や保育士等人材確保に向けた取り組みなどの諸課題についての協議を行った。 ・保育の周辺業務（清掃や配膳、後片付け等）を行う保育士資格を有しない保育支援者を雇用し、保育士等の業務負担軽減や職場環境改善に取り組む6園に対し、補助事業を実施した。 ・保育所・幼稚園・こども園において、外国語指導助手（ALT）による英語活動や運動遊び、リトミックなど各園特色をもった事業の取組を行った。 ・施設の環境改善として、金光幼稚園の避難用滑り台更新工事や寄島こども園及び竜南保育園の照明器具LED化工事等を行った。 ・井笠管内広域入所連携の継続実施により、低年齢児の保育の受

		け皿が拡充された。 ・熱中症対策事業として、備品を導入した私立園に対し、補助金を交付した。
	保育士等人材の確保・育成	・私立園と連携した園職員の資質向上のための各種研修会の実施 ・保育士等の人材確保のための就職相談会の実施 ・保育士等の雇用促進・人材確保に取り組む私立園への補助を拡充 ・市内私立園へ新たに就職する保育士等への就職支援金給付
		取組状況
		・園職員の資質向上のための公開保育研修（公立2園）、若手職員研修や外部講師による特別支援研修、食物アレルギー研修、体育指導研修等を実施した。また、高梁川流域自治体連携事業により、倉敷市保育士・保育所支援センターの協力で実技研修(作ってあそぼう)を行い、各種研修に公・私立園延べ175人が参加した。 ・保育士等の人材確保のため、保育士等への就職を希望する方のための就職相談会を2回開催し、そのうち3名が市内園への就職に繋がった（市内保育所・こども園全園参加）。 ・保育士等の雇用促進や人材確保のための補助金を私立園3園が活用した。 ・保育士等の市内私立園への就職を支援するため、新たに私立園に就職した保育士等12名に対し、就職支援金を給付した。
	子育て支援サポートの充実	・子育て支援情報の周知・充実（ホームページ、メール配信サービス、子育て通信、子育てガイドブックなど） ・子育てコンシェルジュによる利用者支援事業の推進 ・第3子以降児童の保育料及び給食費補助事業無償化事業 ・病気の回復期に至らない児童を保育する「病児保育事業」の県内施設の広域利用の推進 ・おむつの交換などができる施設に「赤ちゃんの駅」への登録を促し、安心して外出できる環境の整備を推進 ・生活保護世帯等の利用者負担軽減を図る実費徴収に係る補足給付事業 ・無償化対象施設等の利用料給付事業 ・第2子保育料負担軽減事業の拡充 ・給食費値上げ分を公費負担する学校等給食費高騰対策事業の拡充 ・認可保育所等への入所保留者に対する認可外保育施設等利用料補助事業
		取組状況
		・子育て情報冊子として、利用者支援事業を活用し、子育てガイドブックを作成した。 ・平成29年4月1日から「岡山県病児保育事業実施施設の相互利用に関する協定」を締結し、現在、岡山県下25市町村20施設の病児保育施設の広域利用が可能となっている。 ・子育てコンシェルジュを配置し、子育てに関する相談対応や情

		報提供等を行った。子育てコラム【宙～そら～】をHPで発信した。 ・国の無償化制度を拡充し、第3子以降の対象者の拡大や主食費を含む給食費補助を行い、多子世帯への保育料等負担軽減を行った。 ・令和5年度からの給食費値上げ分について、国の交付金を活用し公費負担を行い、保護者の負担軽減を図った。 ・一時預かり事業や認可外施設等子育て支援施設等利用料の無償化として給付を行った。 ・認可保育所等への入所保留者に対し、認可外保育施設等を利用する場合の利用料補助を行い、保護者の負担軽減を図った。
	多様な保育需要に応じた保育園・こども園における保育サービスの充実	・未就園児及び在園児（1号認定児）を対象とした「一時預かり事業」の実施 ・園児が病気の回復期であり、集団保育が困難な期間において保育する「病後児保育事業」の実施 ・保護者の多様化する就労形態に対応した「延長保育事業」の実施 ・障害児の処遇向上を図るための「障害児保育事業」の実施
		取組状況 ・公立こども園1園、私立こども園1園で、一時預かり事業（一般型）を実施した。 ・公立幼稚園3園、公立こども園2園、私立こども園2園で、一時預かり事業（幼稚園型）を実施した。 ・休日保育を利用しやすい環境整備のため国へ給付費の増額及び県へ広域利用の制度化を要望した。 ・私立保育所1園で病後児保育事業を実施した。 ・市内全保育所・こども園及び小規模保育事業所1カ所において、通常保育時間の前後に延長保育事業を実施した。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
公立・私立園長会の実施回数	1回	1回
園職員研修(市主催)の実施回数	8回	8回
保育士等の就職相談会の実施回数	2回(継続実施)	2回(継続実施)
障害児保育事業実施施設数	6施設	6施設
保育の確保量	783人	783人

課題・方向性	・第3期浅口市子ども・子育て支援事業計画の着実な推進に向けて、子ども・子育て会議において施策の点検・評価を行い、必要に応じて課題の検討と施策の改善を行う。 ・質の高い教育・保育を提供するため、引き続き各公立園で特色のある事業を実施していく。
--------	---

	・保育士等のための就職相談会を開催し、引き続き私立園と連携・協力し、保育人材確保ための取り組みや支援を行う。 ・保育ニーズの高い0～2歳児の保育の受け皿拡充として、井笠管内における広域入所連携による受入施設の拡充や私立園の定員の増加、既存施設の弾力化により可能な限り児童の受入枠の確保に努めている。また、直接的な保育士確保に繋がる保育士等に対する支援金の給付等保育人材の確保方策にも力を入れてきた。しかしながら、入園申込数の増加や保育士等の人材不足などにより、希望園に入所が困難な保留児童が発生しており、より効果的な対策を引き続き検討していく必要がある。
自己評価	自己評価 B ・浅口市子ども・子育て支援事業計画の計画どおり進められた。 ・待機児童は発生しなかったが、幼児期の教育・保育の利用ニーズは、今後も高い水準で推移すると見込まれるため、保育を必要とする子育て家庭が安心して利用できるよう受け皿の確保、保育士等の人材確保などの方策を引き続き実施していく。 ・ホームページやメール配信等を通じて、子育て支援情報の発信や各園の特色ある取組など積極的に周知を図っていくことが今後も必要である。

＜基本事業＞放課後児童健全育成事業の充実

【担当：保育未来課】

	事業の内容	事業概要
放課後児童クラブの充実	保護者の就労等による放課後や長期休業日等の児童の安全・安心な居場所の提供と健全育成	・放課後児童クラブの設備改修・環境整備 ・放課後児童クラブの円滑な運営支援 ・放課後児童対策パッケージに基づく放課後児童クラブと放課後子ども教室の校内交流型の推進 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上のための研修会 ・放課後児童クラブ支援員の人材確保支援
		取組状況 ・鴨方東小学校児童クラブについて、施設の環境改善のため、照明器具LED化工事を行った。 ・市内小学校で、延べ14回放課後子ども教室を実施し、各小学校の放課後児童クラブの児童も参加した。 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上を図るための研修会として、備中子どもサポーター育成講座を全4回実施した。また、市主催の発達障害研修を実施し、31人が参加した。 ・放課後児童クラブ支援員の人材確保支援として、児童クラブの職員募集について、市のホームページへの掲載や募集チラシの全戸配布の支援を行った。

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
放課後児童クラブ支援員研修会の実施回数	4回	5回
放課後児童クラブの確保量	635人	635人

課題・方向性	・放課後児童クラブでは育成支援に従事する放課後児童支援員等の職員確保に苦慮している。職員の人材確保について、児童クラブと協力し、引き続き積極的に求人募集の支援をしていくとともに、国の補助金を活用した放課後児童支援員の処遇改善に取り組む。 ・金光小学校児童クラブ、金光吉備小学校児童クラブ及び六条院小学校児童クラブについて、利用希望者が増加傾向であり、さらに支援員不足も課題となっているため、更なる受け皿対策（利用定員や施設の拡大・支援員人材確保等）の検討が必要である。 ・放課後児童クラブでの発達障害児等、支援の必要な子どもの利用も多い。関係機関と連携し、個別の対応や状況に応じた支援体制を整えていく必要がある。 ・放課後子ども教室との校内交流型の推進を図るため、引き続き放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携して事業を実施する。
自己評価	自己評価 B ・利用希望者の受入ができなかった放課後児童クラブ2施設があった。 ・放課後児童クラブに対し、補助単価の見直し等を行い、適正な運営費の支援を行うことができた。 ・放課後児童クラブ施設内の設備の充実や環境整備・施設整備を計画的に進めていくことができた。 ・放課後児童クラブの施設及び運営に関する基準に基づき、適切な運営指導を行うとともに、引き続き職員の資質向上を行う。

<基本事業>遊び・交流の場の整備・充実

【担当：保育未来課】

	事業の内容	事業概要
遊び・交流の場の	子どもを育む体験の場と交流の場の充実	・放課後子ども教室等、子どもが様々な活動を経験し、地域の人々と交流できる場の充実 ・地域子育て支援拠点事業（私立園）の実施
		取組状況
		・各公民館における週末の体験活動として、地域のボランティアの

整備・充実		方々を講師とし、14講座の教室を開催した。 ・校内交流型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を小学校で14回実施した。ボランティアの方を講師に迎え、ニュースポーツ体験を実施した。 ・戸外活動が困難な夏休み期間に天草体育館内に「ひんやりルーム」を設置し、親子の居場所を提供した。 ・未就園の乳幼児と保護者を対象として、園庭開放や図書館、つどいの広場などの定期的なイベント情報の発信を行った。
-------	--	---

指標	目標(令和7年度)	実績(令和7年度)
放課後子ども教室の実施回数(再掲)	14回	14回

課題・方向性	・公民館等の子育て情報コーナーやホームページ、子育て通信などを通じて、未就園児と親子の居場所の情報発信を積極的に行っていく。 ・放課後子ども教室の内容を更に充実させ、子ども達が様々な体験や活動を通して、健やかに成長できるように引き続き支援を行う。
自己評価	自己評価 A ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室を小学校内で実施するとともに、学校、地域人材と連携した取組を行うことができた。今後も継続し、より一層充実した取組みを進めていきたい。 ・特に夏休み期間など、戸外での活動が困難な時期に、子どもたちが安心して遊び、交流できる居場所として、天草公園体育館を開放し、目標に近い多くの方の利用があった。

IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（令和7年度事業分）

評価委員 浦上 博文

1. 目標・組織・会議等

教育委員会は、「令和7年度教育行政の基本方針」に基づき、浅口市教育委員会の運営状況、浅口市教育委員会が管理・執行する事務及び主要施策の取組状況について、点検・評価活動を適切に実施している。

教育委員会は、毎月1回の定例会のほか臨時会を開催した。現在の教育に関する重要案件「GIGAスクール構想第2期について」、「休日部活動の地域展開について」の2件に関して総合教育会議で市長と現状確認や協議、意見交換を行い、共通理解を図った。また、市内公立15校園を訪問し、教育及び保育現場の意見を積極的に聴取した。これらの活動は高く評価できる。

2. 学校教育課

評価指標Aの事業が「デジタル社会に対応した教育の充実」であり、評価指標Bの事業が「確かな学力向上の推進」・「心の教育の推進」・「体育・健康教育の充実」である。いずれも適切な評価である。

鴨方中学校、金光中学校、寄島学園、金光小学校、六条院小学校に「自立応援室」を設け、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を活用しながら支援を進めたこと、教職員のスキルの差はあるものの授業場面でのタブレット端末の積極的な活用が進んでいることなどは高く評価できる。

不登校傾向の児童生徒と家庭に対する細やかな対処・支援を引き続き行うこと、子どもたちの運動能力向上に取り組むことを希望する。

3. 教育総務課

「学校施設の整備・充実」の事業に関する評価をBとしているが、適切な評価である。

財政状況が厳しい中、子どもたちの安全・安心を最優先として、緊急性を要する案件から施設整備及び修繕を行ったこと、各学校・園が必要とする補修・改修に計画的に取り組む、突発的な修繕等についても臨機応変に対応したこと、施設保全計画表に基づき施設点検を行ったことなどは高く評価できる。

昭和40年代から50年代に建設された施設が多く更新の時期を迎えつつある状況にあり、中長期的な計画のもと施設整備・充実を進めるよう希望する。

4. ひとづくり推進課

評価指標Aの事業が「生涯学習の充実」・「青少年健全育成団体の活動支援」・「スポーツ推進計画の推進」・「芸術文化活動の振興」・「国際的に活躍できる青少年の育成」であり、評価指標Bの事業が「社会教育施設の整備・充実」・「各種スポーツ団体の育成・支援」・「スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実」・「歴史・文化的資源の保全・活用」・「文化施設の整備・充実」・「国際交流の推進」・「国際理解教育の推進」・「人権啓発、人権教育の推進」である。いずれも適切な評価である。

ボランティア育成講座・ドローン関連事業・スマホ教室のほか、冬GAKUミニサプリ

を継続して実施するなど、様々な世代を対象に、時代に即した生涯学習・社会教育を推進したこと、学校や警察署と連携して細やかな青少年育成センター業務を行ったこと、浅口市マラソン大会を開催し、スポーツ少年団ごとにスポーツ教室を開催して団員数増加を図ったこと、総合文化祭で子どもたちの作品展を開催したこと、青少年海外派遣事業を実施したこと、中学生英語スピーチコンテストに合わせて小学生による英語発表の機会を設け、コミュニケーション能力向上の事業を推進したことなどは高く評価できる。

歴史・文化的資源に関する情報を文化財講座等に活用して市民の学習機会を充実させること、多文化共生社会の実現に向けて外国人のための日本語講座の受講者増を図ることを希望する。

5. 保育未来課

評価指標Aの事業が「遊び・交流の場の整備・充実」であり、評価指標Bの事業が「出産・育児・保育サポートの充実」・「放課後児童健全育成事業の充実」である。いずれも適切な評価である。

浅口市子ども・子育て支援事業を計画どおりに推進して待機児童が発生しなかったこと、放課後児童クラブ支援員の資質向上のための研修会を実施したことなどは高く評価できる。

保育の利用ニーズが増加する中、受け皿と保育人材の確保に努力すること、利用希望者が増加し職員の人材確保に苦慮している放課後児童クラブに支援・指導を行い、放課後児童健全育成に取り組むことを希望する。

6. 総合評価

浅口市の教育目標と7つの教育行政の基本方針に基づき、新たな時代のニーズに対応する各事業を適切に計画及び執行し、良好な成果を上げている。また、それらを適切に点検・評価し、今後に向けた課題・方向性も示されている。引き続き、「郷土あさくちを愛し、心豊かにたくましく、未来を拓く人づくり」に努めることを期待する。

1. 目標・組織・会議等

浅口市の教育目標「郷土あさくちを愛し、心豊かに たくましく、未来を拓く人づくり」を達成すべく、基本方針・基本事業が策定され、現実には即した数多くの事業が展開されているということが推測された。

教育委員会定例会が月 1 回、臨時会が年度内 2 回開催されている。附議案件等から、適時に適切な内容で協議されたことが伺える。

教育委員会学校園訪問・教育委員会会議以外の活動状況とも、活発に開催・出席されており、市教育行政の適切な進行・運営のために努力しておられるものと判断できる。

他分野に劣らず人権教育も実態・課題・指導等、日々変化とアップデートを繰り返している。今年度からは 2026 年 3 月に公表された「岡山県第 6 次人権政策推進指針」をよりどころに、浅口市の教育施策がより充実していくことを望む。

2. 学校教育課

教育行政の大きな責務の一つに適正な教職員数配置が挙げられるが、種々の法令・事業・予算等を活用して必要数確保に努めていることが分かり、評価したい。今後も、さらに充実が図られることを期待する。

小中一貫校・義務教育学校とも、浅口市の特色を最大限生かして教育内容等を工夫・改善しておられることが想像できる。今後も継続するとともに、新設された義務教育学校の初年度に得た知見を、2026 年度以降に活用してさらに充実した学校運営がなされることを期待する。

GIGA スクール構想にも関わる学校園での AI 活用については、学習面のみならず教職員の働き方改革にも大きく関わると推測される。メディアリテラシーに配慮しながら活用の具体的な場面を想定し、長短・功罪・リスクとリターン等を含めて、今後の検討・検証を望む。

3. 教育総務課

限られた予算のなかで、安全・安心を最優先に施設の整備・修繕を重ねてこられたことは高い評価に値する。施設の経年劣化は日々進行するものであるので、今後もたゆまぬ努力の継続を期待する。

4. ひとづくり推進課

生涯学習について、公民館講座数・公民館利用者数とも目標数に達していないことは残念であるが、Wi-Fi 環境を活用した講座等の実施回数と貸出図書数が目標数を大きく超えたことは大きく評価できる。人口減少が進むと予想される今後の地域社会において、明るい材料になりうると考える。関連して、スポーツ・レクリエーション施設の利用者数も概ね右肩上がり推移しており、努力に敬意を表する。なかでも、寄島運動場の利用者が大きく増加している。要因を明らかにして、他の施設への応用を望む。

国際交流・国際理解の面でも、青少年海外派遣事業の復活等、努力の成果が現われており、高く評価したい。

5. 保育未来課

出産・育児・保育サポート、放課後児童健全育成事業、遊び・交流の場の整備とも、各指標の目標値をほぼ達成できており、大いに評価したい。今年度以降もさらに充実されることを望む。

6. 総合評価

各課・各部署とも、基本事業ごとに適切な目標値を設定し達成に向けて日々努力しておられることが、点検・評価報告書から想像できる。今後も、浅口市の教育のために行政面での施策の充実を図っていただきたい。

1. 目標・組織・会議等

浅口市の教育目標「郷土あさくちを愛し、心豊かに たくましく、未来を拓く人づくり」の実現に向けて、7項目の基本方針に基づいて教育委員会の議論や視察をはじめ、総合教育会議や就学指導等連絡協議会、部活動地域移行検討委員会など、課題に対応して市長や関係機関・団体、地域の人材などと協議や連携をしていることは評価できる。

また、学校訪問では、市内公立15校園すべてを訪問し、特に小中学校には県教委も同行しており、授業・保育参観や校園長との懇談で現場の取組や課題を施策に反映させていることも評価できる。課題となっている少子化対策や不登校者対策に関係機関・団体とも連携を深めて対応していただきたい。

2. 学校教育課

義務教育学校に移行して1年目の寄島学園及び小中一貫教育校としての継続的な取組により、乗り入れ授業や英語教育の実践など、総合的に心豊かでたくましい児童・生徒の育成に取り組んでいることを高く評価し、今後の充実・発展に期待する。

デジタル社会への対応を進める中で、タブレット端末の持ち帰りによる家庭学習と授業の連動を推進する中、総合教育会議で協議された「GIGAスクール構想第2期」での取組に期待する。

3. 教育総務課

限られた財源や人員の中、学校施設長寿命化計画に基づいた施設整備や修繕とともに、子どもたちの安全・安心を最優先にした緊急案件への対応にも予算の範囲内で臨機応変に対応できたことは評価できる。自己評価Bは、老朽化に伴う課題の多さを示していると思われる、引き続き安全・安心を最優先に整備・修繕を進めていただきたい。

4. ひとづくり推進課

生涯学習、スポーツ活動、歴史・芸術文化、国際交流、人権啓発と多様な教育課題に対応しており、A評価：5項目、B評価：8項目で、公民館や図書館、天文関連機関、歴史文化施設などで目標を定めて多様な活動に取り組んでいることは評価できる。

特に、部活動の地域移行への委員会を3回開催するとともに、総合教育会議でも協議されており、円滑で効果的に移行できるように推進していただきたい。

5. 保育未来課

安心して産み育てることができると子育て支援について、第3期子ども・子育て支援事業計画に基づいて着実に推進するとともに、保育ニーズの高い0～2歳児の保育受け皿を拡充させるための井笠管内の広域入所連携や子育てコンシェルジュによる「子育てコラム【宙～そら～】」の発行などにより、子育て支援の充実に努めていることは評価できる。

希望園に入所が困難な保留児童や利用希望の受入ができなかった放課後児童クラブが発生したことから、ニーズの高まりに対応するために、保育士や支援員等の人材確保、定員の拡充に努めていただきたい。

6. 総合評価

浅口市の教育目標を達成するための7つの基本方針に基づいて、各課が連携・協力しながら様々な事業に取り組まれ、具体的な数値目標も示しつつ、すべての項目がA評価又はB評価となっていることは評価できる。明確になった課題を踏まえ、学校や社会教育施設、支援機関、関係機関・団体等と連携して、より良い事業展開に努めていただきたい。

【資料1】 令和7年度 園児・児童・生徒数（令和7年5月1日現在）

種別	学校名	区分	1年 (0歳児)	2年 (1歳児)	3年 (2歳児)	4年 (3歳児)	5年 (4歳児)	6年 (5歳児)	計
保育園	竜 南	園児数	2	5	7	10	8	6	38
		学級数	1		1	1	1		4
	合計	園児数	2	5	7	10	8	6	38
		学級数	1		1	1	1		4
こども園	六 条 院	園児数	-	-	-	29	27	23	79
		学級数	-	-	-	2	2	1	5
	寄 島	園児数	4	12	14	21	13	18	82
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	合計	園児数	4	12	14	50	40	41	161
		学級数	1	1	1	3	3	2	11
幼稚園	金 光	園児数	-	-	-	8	17	15	40
		学級数	-	-	-	1	1	1	3
	鴨 方 東	園児数	-	-	-	14	12	18	44
		学級数	-	-	-	1	1	1	3
	鴨 方 西	園児数	-	-	-	7	6	7	20
		学級数	-	-	-	1	1		2
	合計	園児数	-	-	-	29	35	40	104
		学級数	-	-	-	3	2	3	8
小学校・義務教育学校	金 光 竹	児童数	7	8	11	8	9	5	48
		学級数	1	1	1	1	1		5
	金 光	児童数	69	54	62	72	58	64	379
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	金 光 吉 備	児童数	25	22	28	26	22	24	147
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	鴨 方 東	児童数	59	62	37	61	50	42	311
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	鴨 方 西	児童数	15	14	19	14	20	11	93
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	六 条 院	児童数	42	60	35	48	51	45	281
		学級数	2	2	1	2	2	2	11
	寄 島 (前期課程)	児童数	17	17	18	12	25	26	115
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
中学校・義務教育学校	金 光	生徒数	84	79	90	-	-	-	253
		学級数	2	2	3	-	-	-	7
	鴨 方	生徒数	132	120	149	-	-	-	401
		学級数	4	3	4	-	-	-	11
	寄 島 (後期課程)	生徒数	18	22	24	-	-	-	64
		学級数	1	1	1	-	-	-	3
	合計	生徒数	234	221	263	-	-	-	718
		学級数	7	6	8	-	-	-	21

【資料 2】 令和 7 年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校及び教職員の研修一覧

1 市研究指定校について

	指定期間	研究指定事業名	教科・領域	指定校名	指定区分	発表会等期日
1	令和 7 ～ 令和 8 年度	小教研浅口支会指定	「子ども一人一人が主役の学び ～学びのコンパスを活用した授業研究～」	鴨方東小学校	小教研浅口支会	R8. 11. 13

2 教職員研修

	研修名	対象校	対象者	希望・悉皆別	開催日	日数	備考
1	令和 7 年度合同若手教員研修会	小学校・中学校義務教育学校	初任者教員	悉 皆	R7. 8. 1	1	市・井原市・里庄町・矢掛町・早島町
2	架け橋期のカリキュラム研修	保育園・幼稚園・こども園・小学校・義務教育学校	各校園の代表者	—	R8. 1. 8	2	延べ 19 人 (私立園含む)
3	令和 7 年度合同中堅教員研修会	小学校・中学校義務教育学校	中堅教員等	希望者	R7. 8. 1	1	市・笠岡市・井原市・里庄町・矢掛町・早島町
4	公開保育研修	保育園・幼稚園・こども園・小学校・義務教育学校	各校園の職員	希望者	R7. 6. 27 R7. 10. 21	各 1	延べ 45 人 (私立園含む)
5	保育補助者研修	保育園・幼稚園・こども園	各園の職員 (生活支援員)	悉皆	R6. 8. 23	1	14 人 (私立園含む)
6	特別支援教育支援員研修	市内小中義務教育学校	各校の職員 (生活支援員等)	希望者	R7. 6. 30	1	36 人

7	食物アレルギー研修	保育園・幼稚園・こども園・小中義務教育学校	各校園の職員	希望者	R7.7.16 R7.7.30	2	31人 (私立園含む)
8	若手職員研修	保育園・こども園	経験年数 5年目までの職員	希望者	R7.6.25 R7.11.20 R8.1.29	3	延べ21人 (私立園含む)
9	体育指導研修	保育園・幼稚園・こども園	各園の職員	希望者	R7.7.24	1	7人 (私立園含む)
10	特別支援研修	保育園・幼稚園・こども園	各園の職員	希望者	R7.6.26 R7.8.7 R7.9.30 R8.1.14	4	41人 (私立園含む)
11	実技研修 (作って遊ぶ)	保育園・幼稚園・こども園	各園の職員	希望者	R7.8.18	1	8人 (私立園含む) 高梁川流域自治体連携事業
12	新人職員フォローアップ研修	保育園・幼稚園・こども園	経験年数 3年目までの職員	希望者	R7.6.5 R7.6.16 R7.7.9 R7.8.7 R7.8.26 R7.9.12 R8.1.22 R8.1.30	各 1	33人

【資料 3】 令和 7 年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧

◇令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

所管課・室	施設名	利用者数	備考
ひとづくり推進課	中央公民館	43,173 人	
	鴨方図書館	18,024 人	蔵書数 141,983 冊
	天草公園(体育施設)	72,441 人	体育館・武道館・野球場・テニスコート・子どもと老人の広場
	ふるさとかもがたプラザ	32,269 人	
	鴨方 B & G 海洋センター	10,962 人	6 月～9 月まで開館
	岡山天文博物館	12,569 人	
	かもがた町家公園	18,715 人	伝承館:1,193 人
	阿藤伯海記念公園	1,464 人	
金光分室	金光公民館・市民会館金光 金光歴史民俗資料館	48,037 人	
	金光さつき図書館	10,403 人	蔵書数 62,628 冊
	遙照山総合公園	6,396 人	
	金光駅西公園	13,012 人	
	金光スポーツ公園	28,977 人	
寄島分室	ふれあい交流館サンパレア	11,234 人	
	寄島公民館	1,378 人	
	寄島東公民館	3,381 人	
	寄島図書館	4,966 人	蔵書数 29,349 冊
	寄島東体育館	6,874 人	
	寄島武道場	6,768 人	
	寄島 B & G 海洋センター	10,411 人	体育館とプールの合計数
	寄島運動場	6,992 人	
	寄島テニスコート	2,698 人	
	三ツ山スポーツ公園	46,965 人	
	フットサル場	13,144 人	

【資料 4】 令和 7 年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績

【ひとづくり推進課及び分室】

事業名		期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容等
生涯学習推進事業	漢字検定	年3回	一般	日本漢字能力検定協会準会場	6/28 48人 10/25 34人 1/31 43人 金光公民館にて実施
	英語検定	年1回	主に小・中学生	日本英語検定協会準会場	1/24 33人 中央公民館にて実施
	みどりの大学 (金光地区) 天草学級 (鴨方地区) シーサイド大学 (寄島地区)	年9回程度	概ね65歳以上の市民	趣味、教養、健康体操、レクリエーションなど	金光34人、鴨方60人、寄島72人 各公民館6～9回程度のバラエティに富んだ講座を開催
	プログラミング教室	3回	小学3～4年生	プログラミングの体験。アクションゲーム、シューティングゲームを作成する。	市内 7/19 14人 市内12/20 10人 市内 3/28 5人
	ボランティア育成講座	27回	中学生、高校生	ボランティア活動を通じた学び場事業	受講生：中学生 36人 高校生 2人 ボランティア活動を通じて、参加者の能力向上及びボランティア人材の育成を目的とした講座
	浅口市ドローンフェス	年1回	一般	一般社団法人ジャパンドローンリーグによるドローンレース全国大会と市民が参加できるイベントを実施。	8/23, 8/24 来場者 延べ1,500人
	ドローンレースクラブ	月2回	市内小学4年生以上	ドローンに関する知識や法律を学びドローン操作に親しみながら、ドローンレーサーを目指す。	受講生 13人

	浅口市長杯ドローンレース大会	年1回	一般	市民に間近でドローンの迫力を体験し、ドローンの魅力を知ってもらうため、ドローンレース大会を実施。	来場者 延べ150人 ドローンレースクラブ受講生 18人中6人出場
家庭教育関係事業	親育ち応援学習プログラム	年7回	保護者	参加者同士がプログラムを進める中で、自分自身の問題に気付き、保護者としてのあり方や役割について考え、整理するきっかけ作りの場の提供	学童期子育て講座・就学時健診等を利用した子育て講座 市内7校 延べ270人
青少年育成事業	二十歳の集い	年1回	H17.4.2 ～ H18.4.1 生まれ	式典 記念写真	1/11実施 金光80人、鴨方130人、寄島23人参加
	青少年の集い	年1回	教職員 PTA 警察 協議会委員 指導員 等	親や地域の青少年に携わる大人に対して、現代社会における課題についての研修	3/8実施 参加者数 150人 和太鼓披露、明るい家庭づくり作文優秀作品発表、講演会
	街頭キャンペーン	7月・11月	一般	青少年健全育成啓発活動	7/9, 11/ 12 JR鴨方駅・JR金光駅周辺で実施
	子ども週末体験活動	年間週末	園児、小・中学生	体験活動	ウィークエンドわくどき体験 中央公民館 7講座 計69人 ※文化庁補助 265千円 金光さつきっ子教室 金光公民館 4講座 計43人 ※文化庁補助 0円 三つ山っ子教室 寄島公民館 3講座 計28人 ※文化庁補助 180千円
	夏GAKUサブリ	7月 3公民館	小・中学生	学習講座	中央公民館 28教室 延べ460人参加 金光公民館 14教室 延べ250人参加 寄島公民館 7教室 延べ134人参加
	冬 GAKU ミニサブリ	12月	小・中学生	学習講座	中央公民館 11教室 延べ95人参加 金光公民館 6教室 延べ 130人参加 寄島公民館 4教室 延べ 37人参加
	少年少女合唱団 ひまわり	年間	小学生	月2回	団員 8人 毎月第1・3土曜日 10:00～11:30 ひまわりコンサート開催 (3月)

	浅口市青少年育成指導員連絡協議会	年間	指導員	定例補導・特別補導・列車補導	定例補導：年33回 特別補導：年 8回 列車補導：年18回
人権教育推進事業	人権教育指導者養成講座	年5回	受講申込者	講義	参加者 284人 6・7・8・10・12月の5回実施 人権問題の正しい知識と理解等について学習
	PTA人権教育研修会	小・中・義務教育学校各1回	PTA会員	講演会	市内6小学校、2中学校、1義務教育学校においてPTA対象に実施
	保育園・幼稚園・こども園PTA人権教育研修会	各園各1回	PTA会員	ワークショップ	207人 8回開催 9月六条院(2回)・寄島、11月鴨方西、1月金光(2回)・竜南・鴨方東
地域学校協働活動推進事業	学校支援ボランティア活動	年間	園、小・中学校	学校からの要請に応じて支援者の派遣	各学校からの要請に応じて学校支援ボランティアが活動
スポーツ振興事業	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	通年	一般		NPO法人あさくちスポーツクラブの活動を支援
	スポーツ少年団育成支援事業	通年	スポーツ少年団	4月 入団式 12月 スポーツテスト交流大会	入団式及びスポーツテスト交流大会を通じて、団員及び指導者相互の親睦を図る。
	市民体育祭	5・10月	一般	旧町毎に実施	金光 雨天中止 寄島 10/12開催 700人参加
	浅口市マラソン大会	12月 1回	一般		12/14 完走者912人
	ナイターソフトボール大会	5・6月	一般		5/10～6/22 6チーム約90人
	リレーソフトボール大会	7月 1回	一般		7/6 参加チームのリレーにより長時間の試合を行う（今年度は29回まで実施）
	体力テスト交歓大会	12月 1回	スポーツ少年団員		28人参加
	ニュースポーツ体験教室（放課後子ども教室）	11月 4回	小学生	ニュースポーツの体験教室	11/20 7人（金光竹小学校） 11/21 23人（六条院小学校） 11/27 4人（鴨方東小学校） 11/28 18人（金光吉備小学校）

	ナイターペタンク大会	7月 1回	一般	ペタンク	7/5 52チーム106人
	フットサル大会	5・11月	一般	フットサルのリーグ戦	春大会 10チーム 計125人 秋大会 雨天のため中止
	あさくちスポーツフェスタ	3月 1回	一般	参加型スポーツイベント	3/15 参加者延べ人数824人
	サッカー教室 in ファジアーノ岡山スポーツパーク寄島	11月 1回	小学生	サッカー教室	11/1 78人
	ふれあいスポーツ教室	3月 1回	幼児～高齢者	「歩くサッカー（ウォーキングサッカー）」教室	3/7 18人
図書館	こどもの読書週間	年1回	幼児・児童	こどもの読書週間企画	【金光さつき】 4/19 みんなのおはなし会 子ども9人、大人6人 3/29～5/29 本のおたのしみ袋 24袋 【鴨方】 3/29～5/29 本のくじびき 256冊 【寄島】 4/22～5/29 かくれん本 81冊
	読書週間	年1回	すべて	秋の読書週間企画	【三館合同企画】 「本の処方箋-読み薬-」 10/15～11/27 図書館職員が「その本を読むことで得られる効能」ごとに選んだ本を、タイトルが見えないようにオリジナル薬袋に入れて展示・貸出をおこなう
	図書館巡回展示	年1回	すべて	3館巡回展示	「のぞいてみよう！江戸時代」 【金光さつき】 10/1～10/30 【鴨方】 7/15～8/28（夏休み企画） 「ようかいがいっぱい」 【寄島】 8/1～8/28
	出張読み聞かせ	随時	幼児・児童	幼稚園・小学校への出張おはなし会	【金光さつき】 要請に応じて実施 【鴨方】 〃 （にじの会の協力） 【寄島】 〃
	ぬいぐるみのおとまり会	年1回	幼児・児童	ぬいぐるみのおとまり会	【金光さつき】 9/27～9/28 子ども7人、大人5人 【鴨方】 3/29～3/30 【寄島】 10/19 子ども4人、大人3人

	クリスマスおたのしみ会	年1回	幼児・児童	クリスマスおたのしみ会	【金光】 12/21 子ども 20人 大人 10人 【鴨方】 12/20 子ども 10人 大人 5人 【寄島】 12/20 子ども 14人 大人 9人
	夏休み企画	年1回	すべて	夏休み企画展示	【金光さつき】 7/27 映画会「映画 おまえうまそうだな」子ども13人 大人11人 おはなし会 子ども18人、大人10人 チャレンジくじ 27人 8/7 「図書館の仕事を体験しよう！」 (市内小学4～6年生対象) 5人 【鴨方】 「のぞいてみよう！江戸時代」展示 7/15～8/28 判じ絵クイズ・版画ラリー・昔遊び体験 8/23 「おはなし会」 子ども89人 大人4人 【寄島】 7/26 おはなし会 子ども10人 大人10人 ※パネルシアター・工作・おはなし会 8/17 夕方のおはなし会 子ども16人 大人13人
	親子講座（鴨方）	年1回	幼児・小学生親子・一般	親子・ボランティア交流講座	【鴨方】 2/26 講座「おうちで読み聞かせ講座」
	雑誌市		すべて	雑誌の頒布	【寄島】 11/9
	映画会（寄島）	年2回	一般	映画上映	【寄島】 9/19 12人 3/17 12人

事業名		期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容等
文化・芸術関係事業	文化財講座	年1回	一般	文化財を通じて地域の歴史や文化について学ぶ	9/20 「緑のアクセシビリティを楽しむ会」 30人 10/26 「浅口市の文化財庭園と長川寺『庭園築造日誌』」 16人 2/15 「絶滅危惧種アクセシビリティの保護・保全」 30人
	総合文化祭	年1回	一般	市民による芸術文化の発表	10/18, 10/19 (鴨方・寄島) 10/25, 10/26 (金光) 来場数：金光会場約850人、鴨方会場約900人、寄島会場約450人。

	金光遙照太鼓伝承教室	年間	小・中学生、高校生	郷土の文化伝承	5～3月の間、毎週火曜日の夜を中心に活動をした。受講者数19人
	金光キッズフェスティバル	年1回	金光地区園児、小・中学生	学校・公民館・地域での学習成果の発表	12/21 展示の部 24団体延べ642人参加 舞台の部 14団体延べ277人参加
	青少年海外派遣	6日間	市内在住中学2・3年生	海外でホームステイ等異文化体験	派遣先:サイパン(アメリカ合衆国自治領) 期間:7/26～8/1(6日間) 派遣者数:6名
	中学生英語スピーチコンテスト	年1回	市内在住中学生	中学生の英語スピーチコンテスト	11/6 創作の部 14組17名 暗唱の部 9組10名 計27人が出場
	初級英会話講座	月1回	小学5・6年生	ALTによる小学生向け英会話講座	6/11, 7/9, 8/20, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10 1/14, 2/18, 3/11 各回約15人、計約150人
	外国人のための日本語講座	月1回	市内在住在勤在学の外国人	在住外国人向けの日本語講座	(金光公民館) 6/9～第1日曜日 各回約12人、計約120人
	英会話動画の公開	年間	一般	ALTによる英会話動画の作成とインターネットによる公開	第1話「自己紹介をしてみよう!」公開 第2話「浅口市を紹介しよう!」公開
岡山天文博物館事業	こども天文クラブ	年7回	小学4～6年生	年間を通して天文・宇宙についての基礎知識の習得を目指すクラブ活動	7/5, 8/3, 9/6, 10/4, 11/22, 1/17, 3/14 クラブ員7人
	188cm反射望遠鏡市民向け観望会	年2回	一般	188cm反射望遠鏡を使った市民向け観望会	5/25 10人, 8/2 32人, 11/23 19人, 3/1 27人 ※産業振興課との連携事業
	せいめい望遠鏡電視観望会	4回	一般	せいめい望遠鏡を使った電視観望会	5/31 28人、8/30 30人 11/30 38人、3/7 19人
	ちびっこぶらねたりうむ	月2回	乳幼児と保護者	こども向けプラネタリウム投映とお話会。投映中も出入り自由	毎月土曜日を中心に月2回 計23回開催 のべ530人参加
	かがく広場	年3回	一般・親子連れ	身近なものを使った実験や工作を通して科学の不思議を学ぶ。	9/21「やじろべえの不思議」 12/21「すがたをかえるふしぎなもの」 1/25「不思議な石 じしゃく」 のべ36人参加
	望遠鏡を作ろう!	年1回	一般	望遠鏡キットを使って望遠鏡作り	7/26 27人

七夕企画「ほんの少し星に近いところからあなたの伝えたい想いを叶えます」	年1回	一般	メッセージを預かって星のパワーを込め、七夕に間に合うように郵送する。	ホームページでのコンテンツ配信で継続
君も望遠鏡博士になろう！～188cm&せいめい望遠鏡見学ツアー～	月2回	一般	天文台ドーム内でのガイド付き見学ツアー	計22回開催 参加者 のべ100人参加
天文台のまちあさくちPR事業	開館時	一般	スマホやタブレットを使って楽しむ展示	バーチャルで3.8m新望遠鏡と天文台の操作を楽しめる展示。 既存展示の説明をWebコンテンツで見られる展示。
	開館時	一般	タッチパネル式で天文クイズや宇宙旅行を体験	初級から上級までコースを選んでクイズに挑戦。 惑星めぐりや宇宙の果てまで、好きな宇宙旅行が楽しめる。
	開館時	一般	定点カメラを通して3.8m新望遠鏡を観察。	ツアーに参加できない来館者がモニターを通じてドーム内の様子を見ることができる
	開館時	一般	大型モニターによる展示	液晶パネル4枚を組み合わせたマルチスクリーンシステムにタッチパネルを搭載し、触って遊べるコンテンツ。
	年2回	一般	望遠鏡の使い方の説明、季節の星座の観望、月食の特別観望会	12/13 「冬の観望会」 22人 3/3 「皆既月食観望会」 50人
	1回	一般	ライトダウンキャンペーン	光害を周知するため、旧暦七夕にあわせてライトダウンキャンペーンを実施
	年間	一般	天文台PR動画「天文王国おかやま あさくちチャンネル」の公開	せいめい望遠鏡で撮影した天体画像など、スタッフの解説付きでYoutubeで配信および展示室等で公開
学校連携事業	年2回	中学生	中学校と連携し、国立天文台188cm望遠鏡での観測実習および博物館で体験実習を実施	188cm望遠鏡の見学（3校） 観測実習は実施なし
		大学生	岡山理科大学博物館実習	10/12, 10/13, 11/8, 11/9 1人
企画展「宇宙人のさがしかた」	夏休み 8/1～ 8/31	一般	プラネタリウム夏番組にあわせて「宇宙人のさがしかた」をテーマに企画展を開催	2,311人
冬のこどもまつり	年1回	一般	家族やこども向けの工作やイベントを実施	1/12 289人

	プラネタリウムコンサート	年 2 回	一般	星空解説と生演奏	7/19 セタコンサート 30人 12/20 クリスマスコンサート 20人 ※産業振興課との連携事業
	星空ヨガ	年 2 回	一般	プラネタリウムの星空の下でヨガを開催	6/24 14人、11/8 13人 ※産業振興課との連携事業
	講演会等	年2回	一般	岡山天文台講座	1/17「隣人を見つけるには？太陽系外惑星探査について」25人
			一般	宇宙☆自然講座	2/8「ニューロンの形がつくる脳の働き」14人
	岡山天文博物館 開館記念事業 「あさくち天文台フェスタ」	1回	一般	京都大学、国立天文台と共催で、講演会や工作、クイズラリーなど、大人から子どもまで楽しめるイベントを開催	10/25 205人
かもがた町家公園事業	町家塾	年間	小学 1～6年生	郷土の文化伝承	6/28 真田組み体験・昔話 19人 7/12 昔話と七夕かざり作り 17人 8/2 お茶の点て方体験 15人 9/6 投扇興体験 16人 10/11 古代体験～火起こし体験・鋳造 体験～ 15人 11/29 神楽にふれよう 47人 12/13 もうすぐお正月～ミニ門松と羽子板作り～ 20人 1/17 春の七草粥とカルタ 20人 2/15 14 昔話と凧、お面作り 21人 ※参加人数は保護者等を含む
	町家公園茶会	年3回	一般	かもがた町家管理組合文化部による茶会	5/25 140人 10/4 観月茶会 140人 3/29 142 人
	昔の道具展	年間	一般	昔の道具を展示	小学校団体利用は294人
	GWは町家においてよ	年1回	一般	子どもたちを対象とした昔体験（鋳造体験、火起こし体験、ムクロジのシャボン玉遊び、せんべい焼き、端午の節句折紙、琴弾き体験、昔の道具クイズ）	5/3～5/5 169人
	町家で映画館「にほんむかしばなし」	年5回	中学生以下	中学生以下とその家族を対象とした日本昔話の上映会	7/27 5人、8/3 3人 8/10 4人、8/17 5人、8/24 3人

まちや寄席	年1回	一般		2/21 61人
町家☆Stories	年1回		朗読会	10/5 15人
おせらのものづくりとむかしばなし	年4回	一般	大人向けの工作教室と昔話を語る会	4/16 8人, 9/10 6人 12/3 12人, 3/4 12人
町家 de クラス 町家で投扇興体験	年1回	一般	江戸時代の庶民の遊び投扇興の体験	11/30 20人
町家 de クラス 町家で琴はじめ	年1回	一般	初心者でも楽しめる琴の演奏体験	11/2 10人
町家deクラス お茶の点て方体験	年1回	一般	かもがた町家管理組合文化部による気軽に参加できるお茶の点て方体験	11/3 17人
町家deクラス 鴨方まち歩き	年1回	一般	当時の面影をしのばせる鴨方往来を巡る	11/3 15人
町家deクラス 地元醤油を使ったタレづくり	年1回	一般	地元で作られた味噌と醤油を使い万能タレを作る。	10/26 18人
町家のそうめん流し	年1回	小学生とその家族	芝生広場にセットした竹樋で流しそうめんを楽しむ。	7/27 103人
鴨山めぐり～鴨山の宝物を探そう	年1回	小中学生とその家族	鴨神社から鴨山に登り長川寺に下るコースを辿りながらふるさとの歴史を学ぶ。	11/30 26人（一般参加を含む）
町家でお正月	年1回	一般	凧揚げや羽根つき、投扇興など昔の遊びを楽しむ。	1/10～12 40人
町家のひなまつり	年1回	一般	伝承館で琴を演奏するほか、投扇興や琴の弾き方体験、ひな人形工作などを楽しむ。	3/20 61人
季節の行事企画展	年間	一般	節句等の伝統的年中行事の企画展示	4～5月 こいのぼりと五月人形展示 年末年始 門松・正月飾り 2～3月 雛人形展示
とんど焼き	年1回	一般	伝統行事であるとんど焼き	1/12 140人
町家でむかしむかし	年1回	一般	地域に伝わる昔話を聞き、歴史や伝統文化を享受する	3/22 18人

	町家スプリングコンサート	年1回	一般	町家で聴くコンサート	3/1 74人
阿藤伯海公園事業	所蔵作品展	年間	一般	阿藤伯海先生等の資料展示	阿藤伯海先生や画家阿藤秀一郎氏の郷土先人に関する資料の常設展示
	日本文化講座 お香に親しむ～香道入門	全2回	一般	芸術文化事業として、日本文化の一つである香道にふれる	1/30, 2/13 13人 香道の基本的な所作を学び、西山拙斎を題材にした「欽敬香」を体験
	開園 20 周年記念講演会	年 1 回	一般	阿藤伯海先生と師弟の交流について学ぶ	3/14 「阿藤伯海と藤門の書生たち」39 人
資料館事業	鴨方郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の絵画資料、考古資料、麦稈真田や製麺製造関連の民俗資料の展示
	金光歴史民俗資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人等に係る歴史民俗資料展示
	寄島郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の考古資料等の民俗資料展示

【公民館講座】

事業名		期間・回数	対象	開催日・実績・内容等
浅口市中央公民館	ゼロから始める暮らしのペン・筆ペン習字	第2・4土曜日	市内在住 在勤 在学 市内在住 在勤 在学	受講生15人 ペン・筆ペン習字を基礎から学ぶ
	楽しい中国語	毎週日曜日		受講生6人 日常会話の基礎や中国の習慣などを学ぶ
	楽しい陶芸	第4火曜日		受講生9人 土の手触りを楽しみながら器などを作る
	基礎から学べる詩吟	第1・3火曜日		受講生11人 姿勢や発声を学びながら詩歌吟詠のすばらしさを体験する
	楽しい韓国語	第2・4水曜日		受講生8人 読み・書き・話すといったコミュニケーション全般を基礎から学ぶ
	手打ちそば入門	第2・4日曜日		受講生14人 コネ・延ばし・そば切りなどの行程を学ぶ
	浴衣の美しい着付けと半幅帯結び	4回		6/21, 6/28, 7/5, 7/12, 受講生4人 半幅帯の結び方と浴衣の着付けを学ぶ
	もしもお琴が弾けたならばじめてのお琴講座	6回		9/26, 10/10, 10/24, 11/7, 11/21, 12/5 受講生10人 お琴の基礎を練習し、「さくら」と「お江戸日本橋」を修得する。
	色鉛筆体験講座	4回		2/14, 2/28 受講生 6人 3/7, 3/14 受講生 6人 色鉛筆を使って写真を超える絵を描く
金光公民館	AIと仲良くなる講座「はじめてのChatGPT体験」	2回（午前・午後）	市内在住 在勤 在学	12/9 受講生 16名 ① ChatGPTの概要説明 ② 実際に使ってみる ③ 生活に役立つ利用方法と実践 ④ 画像の生成
	庭木の手入れ入門	第4土曜日		受講生13人 剪定の仕方、農薬の使い方を学び丸山公園などでの実施講習
	楽しい絵手紙入門	第4木曜日		受講生8人 初心者の方から自分の個性を生かした作品づくり

	英会話入門	第2・4 火曜日		受講生 21 人 初歩からの英会話を学ぶ
	男の料理入門	第2 日曜日		受講生 9 人 ご飯の炊き方から味噌汁、煮物の料理までを学ぶ
	木工入門	第2・4 金曜日 第2・4 土曜日		受講生 6 人 お皿やお盆、いろいろな作品にチャレンジ
	楽しいヘルシークッキング	第4 日曜日		受講生 14 人 身体と心に優しい料理を身近な材料で手軽に作ろう
	アロマのある暮らし	第2 土曜日		受講生 9 人 アロマを生活の中に取り入れて活用する方法を楽しみながら学ぶ。
	バランスボールエクササイズ	第3 木曜日		受講生 18 人 バランスボールを使って楽しくエクササイズをして、健康増進に努める
	ランチタイムで世界旅行	1 回		3/28 10 人 公民館講座のお試し企画 身近な材料で世界の料理を作ろう
	年末恒例！年越しそば打ち	2 回		12/27 受講生 15 人
	金光おこわを作ろう	1 回		10/17 受講生 8 人 3/7 受講生 11 人 金光特産の青大豆を使った金光おこわをつくる
	アロマストーンづくり	1 回		3/14 受講生 10 人 香りで春の先取りをしよう
寄島公民館	スマートフォン教室	8 回	市内在住の 在住者 勤学生	受講生 延べ 124 人
	フラワーアレンジメント	第3 金曜日		受講生 6 人
	ヨガ	第2 木曜日		受講生 30 人
	手話	第1・3 水曜日		受講生 7 人
	和太鼓	月2 回		受講生 4 人
	茶道	第4 土曜日		受講生 8 人